

三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成22年度実施分)

平成23年9月
三郷町教育委員会

目 次

はじめに	1
I 点検・評価の概要	2
II 町教育委員会の活動状況	3
III 施策及び事業の点検・評価	7
1. 総合計画との対応関係	8
2. 平成22年度主要事業と進捗状況	9
3. 点検・評価項目	
① 学校施設の整備	10
② 教職員研修の充実	12
③ 就園・就学の支援	14
④ 特別支援教育の推進	16
⑤ 情報・国際教育の推進	18
⑥ いじめ・不登校の対策	20
⑦ 地域の教育力の向上	22
⑧ 安全・安心の学校づくり	24
⑨ 学校給食体制の整備	26
⑩ 幼児教育の充実	28
⑪ 放課後児童クラブの充実	30
⑫ 生涯学習の推進	32
⑬ 青少年の健全育成	34
⑭ 人権教育・啓発の推進	36
⑮ 文化センターの充実	38
⑯ 文化活動への支援	40
⑰ 図書館の充実	42
⑱ 文化財の保護と活用	44
⑲ 生涯スポーツの推進	46
⑳ スポーツ施設の整備	48
IV 学識経験者の知見の活用	50

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。(同法第27条第1項)

同法の規定に基づき、平成22年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ報告いたします。

平成23年9月

三郷町教育委員会

委員長	芝崎	善彦
委員	川崎	洋子
委員	鶴丸	浩
委員	森川	征浩
委員(教育長)	山野	一明

I 点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成22年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、平成22年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町第4次総合計画」の施策体系ごとに、20の点検評価項目を設定し、それぞれの事務事業の平成22年度の実績について、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価にあたっては、客観性を確保するため、外部の学識経験を有する方から、指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
米川 英樹	大阪教育大学 教授

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名
委員長	芝崎善彦
職務代理者	川崎洋子
委員	鶴丸浩
委員	森川征浩
教育長	山野一明

2. 教育委員会議の開催状況

- ① 定例会・・・11回
- ② 臨時会・・・5回

3. 教育委員会議の審議状況

- ① 審議事項・・・31件
- ② 報告事項・・・28件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、平成22年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については、「議案」として、その他の報告事項については、「報告」に分類し記載しています。

4. 教育委員の活動状況

- ① 学校(園)計画訪問実施（年1回）
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校
- ② 学校行事への参加
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ③ 各種会議、行事、研修会等への参加
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年健全育成各種会議、各種研修・研究大会、成人式等

平成22年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	平成22年 第4回定例教育委員会	開会日	平成22年4月22日(木)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人事異動について ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・三郷町教育委員会事務点検評価について ・生駒郡地教委連絡協議会について ・生駒郡教育長会について ・教科用図書第四採択地区協議会について ・各課別報告 		
会 議	平成22年 第5回定例教育委員会	開会日	平成22年5月18日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱について ・平成22年度町立学校(園)計画訪問の実施日程について ・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・三郷町立幼稚園の保育料等徴収条例施行規則の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員報告について ・財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・教科書採択事務のスケジュールについて ・各課別報告 		
会 議	平成22年 第6回定例教育委員会	開会日	平成22年6月17日(木)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の滞納状況について ・各課別報告 		
会 議	平成22年 第2回臨時教育委員会	開会日	平成22年8月6日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教科用図書の採択について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会事務点検評価について 		
会 議	平成22年 第7回定例教育委員会	開会日	平成22年8月17日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度町立学校(園)運動会・体育大会の実施日程について ・平成23年度三郷町立南畑幼稚園園児募集について ・教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成21年度実施分)について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度町立学校(園)計画訪問の日程について ・各課別報告 		

会 議	平成22年 第8回定例教育委員会	開会日	平成22年9月27日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町高等学校等入学支度金給付要綱の廃止について ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について ・三郷町文化財保護審議会委員の委嘱について ・平成23年三郷町成人式の開催について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年第3回(9月)三郷町議会定例会について ・学校事務グループワーキングの試行について ・図書館の利用状況について ・各課別報告 		
会 議	平成22年 第3回臨時教育委員会	開会日	平成22年10月1日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会委員長及び職務代理者の選任について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度全国学力・学習状況調査結果について 		
会 議	平成22年 第9回定例教育委員会	開会日	平成22年10月19日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度三郷町立南畑幼稚園の園児募集状況について ・各課別報告 		
会 議	平成22年 第10回定例教育委員会	開会日	平成22年11月22日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度三郷町立南畑幼稚園の抽選結果について ・三郷中央公園多目的広場の設置及び管理に関する条例の制定について ・三郷町文化センター、スポーツセンター、ウォーターパーク、竜田運動公園庭球場及び三郷町立図書館の使用料減免に関する取扱いの改正について ・各課別報告 		
会 議	平成22年 第11回定例教育委員会	開会日	平成22年12月20日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷中央公園多目的広場の設置及び管理に関する条例の制定について ・学校給食材料費の滞納整理状況について ・各課別報告 		

会 議	平成23年 第1回臨時教育委員会	開会日	平成23年1月14日(金)
議案	・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について		
会 議	平成23年 第1回定例教育委員会	開会日	平成23年1月24日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度卒業(園)式及び平成23年度入学(園)式について ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷中央公園多目的広場管理規則の制定について ・三郷町立図書館条例施行規則の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町放課後児童クラブ入所基準について ・各課別報告 		
会 議	平成23年 第2回臨時教育委員会	開会日	平成23年2月10日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正について ・三郷町教育委員会の文書管理規程の一部改正について ・三郷町教育委員会の公印に関する規程の一部改正について ・三郷町教育委員会事務局職員の職の設置に関する規則の一部改正について 		
会 議	平成23年 第2回定例教育委員会	開会日	平成23年2月14日(月)
議案	・小学校児童及び中学校生徒指導要録の様式について		
報告	・各課別報告		
会 議	平成23年 第3回臨時教育委員会	開会日	平成23年2月18日(金)
議案	・三郷中央公園多目的広場管理規則の制定について		
会 議	平成23年 第3回定例教育委員会	開会日	平成23年3月24日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会事務局事務決裁規程の一部改正について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会設置要綱の一部改正について ・三郷町学校給食集団食中毒緊急対策本部設置要綱の制定について ・学校評議員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度一般会計予算案の概要について ・平成23年度町立学校(園)の教育課程について ・平成22年度一般会計補正予算について ・各課別報告 		

Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

点検及び評価にあたっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町第4次総合計画」を検証し、その施策体系を網羅するように、次頁の表のとおり、20の「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法・結果について、PDCAサイクル(※)に従って詳細に記載できるようにするとともに、成果指標と決算額を示すこととし、成果とコストを明らかにするようになっています。

また、今年度からそれぞれの事業費について、国や県の補助事業であるものについては、そのことを明記するようになっています。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、1 基本事項、2 事業概要・目的、3 事業実績・結果、4 点検評価・課題、5 改善方法・結果、6 今後の計画・方向性に分類しています。

【基本事項】

→施策の名称、担当課、総合計画の位置づけ及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、平成22年度実績です。「◎」については、補助事業を示します。

【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。また、課題については、継続的な課題とともに、平成22年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果と新たな課題に対する改善方法の検討について記載しています。

【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

※PDCAサイクル

計画(PLAN)→実行(DO)→点検(CHECK)→見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

三郷町第4次総合計画との対応関係

【総合計画の施策方針】

第1章 いきいきと笑顔で暮らせるまちをつくろう

第1節 子育て支援の充実

④親と子の学びと成長への支援 →⑪

第2節 学校教育の充実

①学校施設の整備 →①

②教職員の資質向上 →②

③情報化・国際化に対応した教育環境の整備 →⑤

④学校給食体制の整備 →⑨

⑤「いじめ」や不登校児童・生徒に対する対策の充
実 →⑥

⑥学校や登下校時の安全確保 →⑧

⑦地域とともにつくる豊かな学校教育 →⑦

⑧子どもの非行防止 →⑬

第3節 生涯学習・文化活動の振興

①生涯学習推進体制の充実 →⑫

②文化センターの充実 →⑮

③文化活動団体への支援 →⑯

④図書館の充実 →⑰

第4節 生涯スポーツと健康づくりの振興

①自主的なクラブ・サークルやスポーツ団体の育成 →⑲

②青少年スポーツ活動の振興 →⑲

③総合型地域スポーツクラブの育成 →⑲

④障害者のスポーツ活動の充実 →⑳

⑤総合スポーツ施設の整備 →⑳

第6節 障害者の自立支援

③教育・育成支援の充実 →④

第2章 みどり豊かな美しいまちをつくろう

第4節 歴史的環境の保全

①文化財の保護と活用 →⑱

②民間団体による調査や歴史にふれる機会づくり →⑱

③歴史的資料の発掘と保全・管理 →⑱

第4章 みんなで協働するまちをつくろう

第1節 人権の尊重

①人権尊重の啓発 →⑭

②相談の充実 →⑭

【点検・評価項目】

①学校施設の整備 ←1. 2-①

②教職員研修の充実 ←1. 2-②

③就園・就学の支援

④特別支援教育の推進 ←1. 6-③

⑤情報・国際教育の推進 ←1. 2-③

⑥いじめ・不登校の対策 ←1. 2-⑤

⑦地域の教育力の向上 ←1. 2-⑦

⑧安全・安心の学校づくり ←1. 2-⑥

⑨学校給食体制の整備 ←1. 2-④

⑩幼児教育の充実

⑪放課後児童クラブの充実 ←1. 1-④

⑫生涯学習の推進 ←1. 3-①

⑬青少年の健全育成 ←1. 2-⑧

⑭人権教育・啓発の推進 ←4. 1-①②

⑮文化センターの充実 ←1. 3-②

⑯文化活動への支援 ←1. 3-③

⑰図書館の充実 ←1. 3-④

⑱文化財の保護と活用 ←2. 4-①②③

⑲生涯スポーツの推進 ←1. 4-①②③

⑳スポーツ施設の整備 ←1. 4-④⑤

1. →は、総合計画の施策方針と評価項目の対応関係を示す。

2. ←は、点検・評価項目と総合計画の施策方針の対応関係を示す。

凡例：1. 1-①＝第1章・第1節の①

平成22年度主要事業と進捗状況

【評価項目】

①学校施設の整備

②教職員研修の充実

③就園・就学の支援

④特別支援教育の推進

⑤情報・国際教育の推進

⑥いじめ・不登校の対策

⑦地域の教育力の向上

⑧安全・安心の学校づくり

⑨学校給食体制の整備

⑩幼児教育の充実

⑪放課後児童クラブの充実

⑫生涯学習の推進

⑬青少年の健全育成

⑭人権教育・啓発の推進

⑮文化センターの充実

⑯文化活動への支援

⑰図書館の充実

⑱文化財の保護と活用

⑲生涯スポーツの推進

⑳スポーツ施設の整備

【主要事業及び進捗状況】

※上段は主要事業の内容、下段は年度計画事業や平成22年度重点項目。

・学校、幼稚園の改修・整備工事

①南畑幼稚園耐震改修工事(計画2年目事業完了)②耐震化率:100%

・小中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加

・小中学校就学援助、高校入学支度金、幼稚園就園奨励

①高校入学支度金の廃止(平成23年度から)

・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励

①特別支援担当者連絡会の拡大

・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALTの派遣

①新学習指導要領移行期間におけるALT派遣時数の拡大(平成23年度完全実施)

・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談

・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業

①学校支援地域本部事業(国委託事業最終年度:平成23年度から町事業として実施)

・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール

・安全安心の学校給食、食育の推進、給食センターの建替

①給食センター建替事業(平成22年度一時休止:平成23年度から再検討)

・地域に開かれた幼稚園、子育て支援

・放課後児童クラブの運営

①入所要件の見直し(平成23年度入所から)

・学習基盤の整備、各種学級の運営

・青少年育成三郷町民会議、親子のつどい、教育講演会、成人式

・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談

・公開講座・文化教室、グループ活動の支援、指定管理

①指定管理者の指定(平成21年度から3年間)

・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成

①町民文化祭、芸術祭の開催

・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進

①視聴覚室スクリーンの拡大、プロジェクターの整備

・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供

①平城遷都1300年祭開催②文化財の発見(勢野東遺跡)③文化財マップの作成

・スポーツの推進、軽スポーツ事業

①総合型地域スポーツクラブの創設(平成23年度以降協議)

・スポーツ施設の整備、指定管理

①指定管理(平成22年度からウォーターパークに加えスポーツセンターも指定)

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の①
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の耐震性を確保します。 誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設は、園児・児童・生徒の学習及び生活の場であるとともに、地域の災害避難所にも指定されていることから、施設の安全性を確保する。 施設の老朽化に伴う補修・改修工事を年次計画に沿って実施し、良好な教育環境を維持する。 テレビの地上デジタル化に伴い、各学校（園）のアンテナ改修工事を行う。 平成21年度に実施設計を行った木造平屋の南畑幼稚園の耐震補強改修工事を実施する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○学校施設の耐震化の状況</p> <p>※対象：非木造2階建以上、又は延べ床面積200㎡以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震化対象棟数：20棟（南畑幼稚園1、三郷小学校6、三郷北小学校5、三郷中学校8） 耐震化率：100% <p>※南畑幼稚園については、耐震化基準対象外であるが、園児の安全のため耐震補強改修工事を実施。</p> <p>○各学校・園の施設整備状況（主な補修工事等、事業費200,000円以上）</p>																							
	<p>【三郷小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雨樋3階エントランス前雨樋リ補修工事</td> <td>207,900</td> </tr> <tr> <td>消防設備改修工事</td> <td>613,935</td> </tr> <tr> <td>教室ドア改修工事</td> <td>994,000</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>510,180</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,326,015</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	雨樋3階エントランス前雨樋リ補修工事	207,900	消防設備改修工事	613,935	教室ドア改修工事	994,000	その他補修・修繕工事	510,180	合計	2,326,015											
	工事名称	事業費(円)																						
	雨樋3階エントランス前雨樋リ補修工事	207,900																						
	消防設備改修工事	613,935																						
	教室ドア改修工事	994,000																						
	その他補修・修繕工事	510,180																						
	合計	2,326,015																						
	<p>【三郷北小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール塗装工事</td> <td>1,732,500</td> </tr> <tr> <td>給食リフトダムウェーター改修工事</td> <td>976,500</td> </tr> <tr> <td>トイレブース取替工事</td> <td>750,000</td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブ庇設置工事</td> <td>262,500</td> </tr> <tr> <td>グラウンド整備工事</td> <td>290,010</td> </tr> <tr> <td>消防設備改修工事</td> <td>654,570</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>668,648</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,334,728</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	プール塗装工事	1,732,500	給食リフトダムウェーター改修工事	976,500	トイレブース取替工事	750,000	放課後児童クラブ庇設置工事	262,500	グラウンド整備工事	290,010	消防設備改修工事	654,570	その他補修・修繕工事	668,648	合計	5,334,728					
	工事名称	事業費(円)																						
プール塗装工事	1,732,500																							
給食リフトダムウェーター改修工事	976,500																							
トイレブース取替工事	750,000																							
放課後児童クラブ庇設置工事	262,500																							
グラウンド整備工事	290,010																							
消防設備改修工事	654,570																							
その他補修・修繕工事	668,648																							
合計	5,334,728																							
<p>【三郷中学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プール濾過装置修繕工事</td> <td>840,000</td> </tr> <tr> <td>エレベーター・音楽室エレベーター改修工事</td> <td>1,312,500</td> </tr> <tr> <td>教育相談室防音壁設置工事</td> <td>1,190,000</td> </tr> <tr> <td>消防用受信機改修工事</td> <td>1,016,400</td> </tr> <tr> <td>学習室改修工事</td> <td>236,250</td> </tr> <tr> <td>体育館塗装改修工事</td> <td>552,300</td> </tr> <tr> <td>自動火災報知器設備箇所改修工事</td> <td>262,500</td> </tr> <tr> <td>被服室床張替・電気工事</td> <td>430,000</td> </tr> <tr> <td>体育館トイレ改修工事</td> <td>979,650</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>1,686,144</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,505,744</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	プール濾過装置修繕工事	840,000	エレベーター・音楽室エレベーター改修工事	1,312,500	教育相談室防音壁設置工事	1,190,000	消防用受信機改修工事	1,016,400	学習室改修工事	236,250	体育館塗装改修工事	552,300	自動火災報知器設備箇所改修工事	262,500	被服室床張替・電気工事	430,000	体育館トイレ改修工事	979,650	その他補修・修繕工事	1,686,144	合計	8,505,744
工事名称	事業費(円)																							
プール濾過装置修繕工事	840,000																							
エレベーター・音楽室エレベーター改修工事	1,312,500																							
教育相談室防音壁設置工事	1,190,000																							
消防用受信機改修工事	1,016,400																							
学習室改修工事	236,250																							
体育館塗装改修工事	552,300																							
自動火災報知器設備箇所改修工事	262,500																							
被服室床張替・電気工事	430,000																							
体育館トイレ改修工事	979,650																							
その他補修・修繕工事	1,686,144																							
合計	8,505,744																							
<p>【南畑幼稚園】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通園バス修繕</td> <td>171,150</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>243,289</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>414,439</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	通園バス修繕	171,150	その他補修・修繕工事	243,289	合計	414,439																
工事名称	事業費(円)																							
通園バス修繕	171,150																							
その他補修・修繕工事	243,289																							
合計	414,439																							
<p>○各学校（園）地上デジタル用アンテナ改修工事【国庫補助】</p> <p>①三郷小学校：899,850円 ②三郷北小学校：791,700円 ③三郷中学校：3,173,100円 ④南畑幼稚園：605,430円 合計：5,470,080円（うち補助金4,605,430円）</p>																								
<p>○南畑幼稚園耐震補強及び改修工事【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木造平屋建ての南畑幼稚園について、安全性を確保するため、平成21年度に実施設計を行い、（設計金額：1,890,000円）、平成22年度の夏休み期間中に耐震補強工事と各教室の改修工事を実施した。 工事金額：8,901,900円（うち補助金5,043,564円） 																								

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の耐震化率については、100%を達成している。【成果指標①】 ・各施設において、年次計画に基づく工事及び緊急かつ必要な改修・補修を実施したが、老朽化・経年劣化により、今後も改修・補修が随時必要である。 ・平成22年度は、特に中学校の工事費を拡充したため、全体の工事費が前年度から約1,100万円の大幅増となった。【成果指標②】 ・平成23年7月に終了するアナログ放送に対応するため、地上デジタルアンテナ改修が完了した。 ・耐震化指標の対象外となっている南畑幼稚園についても、安全性を確保するため、耐震補強工事を行った。 					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
	①学校施設耐震化状況(対象施設)	耐震化率	%	100	100	H21.....0 H22.....0
	②各学校・園補修・改修工事 (アンテナ及び幼稚園耐震補強工事除く)	補修・改修件数	件	64	85	H21 5,715,294 H22 16,580,926
						H21..... H22.....
						H21..... H22.....
						H21..... H22.....
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①老朽化・経年劣化による改修・補修が必要な施設が多くあり、随時対応していくこと。 ②木造平屋建ての南畑幼稚園の耐震化工事を進める。 ③町内小中学校・園の中で、中学校については、特に、老朽化が進んでおり、保護者からも施設整備の要望が多いため、財源の確保に努めながら、随時補修・改修を進める。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①三郷北小学校では、新1年生の児童数の増加が見込まれ、クラス数が増える可能性があるため、現在、放課後児童クラブが使用している1年生の空き教室について、教室の移動等の対応が必要となる。 					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①改修・補修が必要な施設については、財政状況を勘案しながら、必要な整備を進める。 ②南畑幼稚園については、耐震補強及び施設の改修工事が完了した。 ③三郷中学校については、予算要求時に年次計画を作成し、優先順位に基づいて、順次工事を実施する。 	
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①クラス数が確定した段階で、早急に対応する。 	

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、財政状況を勘案しながら、優先順位を設定し、必要な整備を進める。 ・平成23年度は小学校教室ドア取替工事、中学校のキュービクル取替工事等を実施する。

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 (南畑幼稚園)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の②
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県などの関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施し、実践の指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。県の研修に加え、町において、年間に2回研修を実施する。 ・発達障害等の特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 ○幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼稚園教育研究会及び奈良県幼稚園教育研究協議会において、幼児一人一人へのきめ細やかな対応を学び保育内容の充実を図るため各種研修会を行う。 ・幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、教員の資質向上を図る。 ◎県実施研修への参加【県費】 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校 <ul style="list-style-type: none"> 【初任者研修】 <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者 7人 <ol style="list-style-type: none"> ①第1回生駒郡地教委主催初任者研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 フィールドワーク「天理軽便鉄道跡」「安堵町歴史民族資料館」等体験学習「灯心引き」 ②第2回生駒郡地教委主催初任者研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 生徒指導・人権教育・学級経営・道徳教育等について教材・教具作り 【特別支援教育研修会】 <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成22年8月20日(金) 場所 三郷町文化センター 内容 発達障害のある子どもの理解と支援についての講演。 参加人数：三郷町から74人(全体で400人) ○幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> 【生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会】 <ul style="list-style-type: none"> 内容 全体研修(講演、ビデオ研修)、各種部会研修(実践事例による研究協議) ※6月に公開保育を実施。 回数 全体研修：年間3回 部会研修：年間4回 【幼稚園教員研修】 <ol style="list-style-type: none"> ①園内研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 外部講師による保育内容の点検及び指導 回数 年間2回 ②職員研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 毎週水曜日の保育終了後、職員研修を実施し、保育内容や行事等の役割の共通理解に努めた。 回数 年間を通じて週1回 ※その他、随時特別支援教育研修を行い、指導内容の充実を図った。 ◎県実施研修への参加(県費) <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、10年経験者研修など、教職員のライフステージに対応した研修への参加 <ul style="list-style-type: none"> 参加人数：初任者研修 7人 10年経験者研修 2人 ・教職経験に応じたステージ別研修への参加 <ul style="list-style-type: none"> 参加人数：51人(幼稚園5人、三小22人、北小15人、三中9人) ・中堅教員研修 <ul style="list-style-type: none"> 参加人数：1人
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡主催地教委主催初任者研修については、実践的なものであり、参加者にも好評であった。 <p>【成果指標①】</p> <p>※アンケート結果：地域の歴史や伝統を学ぶ良い機会となった。違う学校の先生とのグループワークを通じて、悩みや喜びを共有できた。小中学校の連携の必要性、また、違いを認識した等。のべ11人回答。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ別研修：受講者全員にアンケートを実施し、全員が回答した。①研修の校内活用：39/51人②資質の向上：41/51人となっており、有意義な研修となっている。【成果指標④】 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼稚園教育研究会、奈良県幼稚園教育研究協議会では、各市町村の情報交換、実践交流の場となり、研究協議の中から取り組みの反省と評価ができた。【成果指標③】 ・幼稚園教員、特別支援教育研修では、講師の講評の中から保育の見直し、改善するポイントを見出すことができた。また、特別支援を必要とする幼児の対応について、療育との連携により、職員間で学び合い共通理解を深めることができた。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①初任者研修	研修回数（町実施）	回	2	2	H21.....0 H22.....0
	②特別支援教育研修会	参加人数	人	—	400	H21.....0 H22.....0
	③生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会	研修回数	回	4	7	H21.....0 H22.....0
	④ステージ別研修	参加人数	人	57	51	H21.....0 H22.....0
						H21.....0 H22.....0

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①教員の資質の向上に繋がる効果的な研修とするため、研修後のフィードバックが重要である。</p> <p>②幼稚園については、限られたスタッフ人員で、より質の高い保育・教育内容の充実が求められる。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①研修後にアンケートを実施し、研修内容の検証を行った。</p> <p>②幼稚園については、今後も教員間の情報共有を図りつつ、自己研鑽を積み重ねることが重要である。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・今後も研修内容を精査しながら、教職員の資質向上を図る。		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	③就園・就学の支援	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないように、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎小中学校就学援助【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 <p>○高校入学支度金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校、高等専門学校又は学校教育法に準じた高校への進学を容易にし、学習意欲を高めるため、入学支度金を給付する。 <p>◎幼稚園就園奨励【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減及び公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、幼稚園教育の普及充実を図るため、町立幼稚園の保育料の減免及び私立幼稚園への就園奨励費補助金の交付を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎小中学校就学援助【国庫補助】																													
	【要保護就学援助認定者】																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>※修学旅行費のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>10</td> <td>55,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>5</td> <td>56,358</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15</td> <td>112,158</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	※修学旅行費のみ	三郷小学校	10	55,800		三郷北小学校	0	0		三郷中学校	5	56,358		合計	15	112,158										
	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	※修学旅行費のみ																										
	三郷小学校	10	55,800																											
	三郷北小学校	0	0																											
	三郷中学校	5	56,358																											
	合計	15	112,158																											
	【準要保護就学援助認定者】																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>給食費(円)</th> <th>援助費合計(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>95</td> <td>2,214,668</td> <td>4,028,700</td> <td>6,243,368</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>35</td> <td>781,763</td> <td>1,431,300</td> <td>2,213,063</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>78</td> <td>3,760,493</td> <td>3,464,500</td> <td>7,224,993</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208</td> <td>6,756,924</td> <td>8,924,500</td> <td>15,681,424</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)	三郷小学校	95	2,214,668	4,028,700	6,243,368	三郷北小学校	35	781,763	1,431,300	2,213,063	三郷中学校	78	3,760,493	3,464,500	7,224,993	合計	208	6,756,924	8,924,500	15,681,424				
学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)																										
三郷小学校	95	2,214,668	4,028,700	6,243,368																										
三郷北小学校	35	781,763	1,431,300	2,213,063																										
三郷中学校	78	3,760,493	3,464,500	7,224,993																										
合計	208	6,756,924	8,924,500	15,681,424																										
○高校入学支度金																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>受給者(人)</th> <th>決算額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立</td> <td>32</td> <td>2,240,000</td> <td>1人につき 70,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>5</td> <td>1,000,000</td> <td>1人につき200,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>3,240,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	受給者(人)	決算額(円)	備考	国公立	32	2,240,000	1人につき 70,000円	私立	5	1,000,000	1人につき200,000円	合計	37	3,240,000															
種別	受給者(人)	決算額(円)	備考																											
国公立	32	2,240,000	1人につき 70,000円																											
私立	5	1,000,000	1人につき200,000円																											
合計	37	3,240,000																												
◎幼稚園就園奨励【国庫補助】																														
<p>・町内に在住し、私立幼稚園に就園する3歳児から5歳児の保護者を対象に、所得に応じて補助金を支給。</p> <p>【私立幼稚園就園奨励費補助金】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>受給者(人)</th> <th>就園奨励費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>77</td> <td>7,866,900</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>47</td> <td>4,291,500</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>79</td> <td>5,890,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>203</td> <td>18,048,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>・町立幼稚園の保育料を負担することが困難な保護者に対して、減免措置を行った。</p> <p>【町立幼稚園保育料の減免】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>減免者数(人)</th> <th>減免額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>1</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table>	園児区分	受給者(人)	就園奨励費(円)	3歳児	77	7,866,900	4歳児	47	4,291,500	5歳児	79	5,890,000	合計	203	18,048,400	園児区分	減免者数(人)	減免額(円)	3歳児	0	0	4歳児	0	0	5歳児	1	20,000	合計	1	20,000
園児区分	受給者(人)	就園奨励費(円)																												
3歳児	77	7,866,900																												
4歳児	47	4,291,500																												
5歳児	79	5,890,000																												
合計	203	18,048,400																												
園児区分	減免者数(人)	減免額(円)																												
3歳児	0	0																												
4歳児	0	0																												
5歳児	1	20,000																												
合計	1	20,000																												
※上記制度の周知方法																														
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校就学援助及び高校入学支度金については、各学校を通じて全保護者に案内した。 ・幼稚園就園奨励については、各園を通じて三郷町在住の保護者全員に案内した。 																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助は、前年度並みの小中学校合わせて223人を認定し、援助を必要とする保護者の経済的負担を軽減できた。【成果指標①】 ・受給率については、本町においては全児童・生徒数の12%台で推移している。【成果指標②】 ・高校入学支度金については、住民への周知期間も勘案し、平成22年度については継続支給とした。【成果指標③】 ・幼稚園就園奨励費については、3歳児の受給者が増加したことにより、前年度比28人増、決算額で300万円弱の増加となった。【成果指標④】
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①小中学校就学援助	認定者数	人	215	223	H21 16,081,077 H22 15,793,582
	②小中学校就学援助	認定率	%	12.2	12.7	H21 16,081,077 H22 15,793,582
	③高校入学支度金	受給者数	人	25	37	H21 2,400,000 H22 3,240,000
	④幼稚園就園奨励	受給者及び減免者数	人	176	204	H21 14,865,000 H22 18,048,400
						H21 H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①高校入学支度金について、私学入学者への給付の公平性、奨学金等の制度との重複の観点から、給付額の見直し、又は継続の是非を含めた検討を行うこと。</p> <p>②医療券については、就学援助の決定（7月頃）以降に発行しているが、現状では、決定前に医療機関を受診できないため、手続き方法や時期等について検討する必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①高校入学支度金については、高校授業料無償化が実施されたこともあり、費用対効果を再度見直すとともに、近隣市町村の状況も踏まえ、平成23年度から廃止する。</p> <p>②医療券については、平成22年度から決定前に医療機関を受診した場合には、一度立て替え払いを行い、決定後に償還払いができるように手続き方法や様式を改善した。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・就学援助及び幼稚園就園奨励については、現状どおり継続する。</p> <p>・高校入学支度金については、平成23年度以降から廃止する。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第6節の③
基本方向	・学校教育において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、その持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。 <p>○教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者に対し、障害等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を行う。 <p>○特別支援教育担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の連携を目的に、情報交換や就学指導のあり方を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の収入額が一定額以下である場合、学用品費や学校給食費などの一部を援助する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による臨時講師等を各学校に配置した。 <p>【配置講師数】</p> <table> <tr><td>南畑幼稚園</td><td>2人</td></tr> <tr><td>三郷小学校</td><td>4人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>2人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>2人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>10人</td></tr> </table> <p>※正規職員(三郷北小学校1人、三郷中学校2人)を除く。</p> <p>○教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年7月に就学前の幼児を持つ保護者を対象として、斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を行った。 <p>【相談人数】</p> <table> <tr><td>三郷小学校区</td><td>13人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校区</td><td>2人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>15人</td></tr> </table> <p>○特別支援教育担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実をはかるため、情報交換と小中学校の連携を図る場として、平成21年度から小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者による連絡会議を立ち上げ、平成22年度においても定期的に連絡会を開催した。(年間6回) <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</p> <p>【就学奨励費認定者数】</p> <table> <tr><td>三郷小学校</td><td>18人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>12人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>9人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39人</td></tr> </table> <p>※平成22年度決算額：1,354,610円(補助額495,000円)</p>	南畑幼稚園	2人	三郷小学校	4人	三郷北小学校	2人	三郷中学校	2人	合計	10人	三郷小学校区	13人	三郷北小学校区	2人	合計	15人	三郷小学校	18人	三郷北小学校	12人	三郷中学校	9人	合計	39人
南畑幼稚園	2人																								
三郷小学校	4人																								
三郷北小学校	2人																								
三郷中学校	2人																								
合計	10人																								
三郷小学校区	13人																								
三郷北小学校区	2人																								
合計	15人																								
三郷小学校	18人																								
三郷北小学校	12人																								
三郷中学校	9人																								
合計	39人																								

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする園児・児童・生徒が年々増加しているため、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置しており、平成22年度は1人増の10人を配置した。【成果指標①】 ・就学前の相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と特別支援担当の教員が相談を行うことにより、園での生活の仕方や専門機関への斡旋等、幼児の現状に応じたアドバイスができた。平成22年度は、相談件数が急増（15件）しており、保護者のニーズが高いと考えられる。【成果指標②】 ・特別支援担当者連絡会議は、年間6回開催し、小中学校間の情報交換との連携を図った。【成果指標③】 ・特別支援教育就学奨励費では、昨年度から受給者で7人、決算額で20万円あまりの増となり、特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担を軽減することができた。【成果指標④】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①特別支援教育の推進	配置講師数	人	9	10	H21 22,861,343 H22 25,542,171
	②教育相談	相談人数	人	6	15	H21 0 H22 0
	③特別支援教育担当者連絡会	開催回数	回	6	6	H21 0 H22 0
	④特別支援教育就学奨励費	就学奨励費認定者数	人	32	39	H21 1,127,796 H22 1,354,610
						H21 H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は、年々増加する傾向にあり、人員配置を含め、今後も支援体制を強化する必要がある。</p> <p>②特別支援担当者連絡会については、今後、幼稚園・保育園や保健センターなどとも連携し、子どもの誕生から成長を見まもり、適切な支援を行う必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①三郷北小学校では、非常勤の特別支援員を1人配置しているが、授業への関わり等が限定されるため、常勤講師を配置することが必要である。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①特別に支援が必要な幼児・児童・生徒の増加に伴い、常勤講師を増員した。</p> <p>②平成22年度は、担当者連絡会に公立・私立の幼稚園・保育園にも参加を呼びかけた。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①平成23年度からは、予算状況を勘案しながら、常勤講師1人の増員を検討する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・増加する特別な支援が必要な発達障害の幼児・児童・生徒に対して、障害の程度によっては、普通学級の中で適切な支援ができるよう講師の配置に努める。</p> <p>・乳幼児を含めて子どもたちや保護者等の実態や状況の変化に対応し、総合的なサポート体制を確立する。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎校内LAN・教育用コンピュータの整備【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校については平成19年度に、中学校については平成21年度に整備した教育用コンピュータ及び校内LANを活用し、積極的に情報教育を推進する。 <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、三郷中学校を中心に、町内各学校にALTの派遣を行う。 ・南畑幼稚園では、幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、ALTとの交流会を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎教育用コンピュータ等の設置状況																																			
	<p>【三郷小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サーバ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (デスクトップ)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (ノート)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>プリンタ</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>液晶プロジェクタ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※整備年度：平成19年度 ※設置場所：南館2階パソコンルーム ※各教室に校内LAN整備</p> <p>【三郷北小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サーバ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (デスクトップ)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (ノート)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>プリンタ</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>液晶プロジェクタ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※整備年度：平成19年度 ※設置場所：北館2階コンピュータ教室 ※各教室に校内LAN整備</p> <p>【三郷中学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サーバ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (デスクトップ)</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (ノート)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>プリンタ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>モバイルプロジェクタ</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※整備年度：平成21年度 ※LAN：61室整備（普通教室、特別教室） ※設置場所：B棟4階コンピュータ室</p> <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校に年間を通じてALT（1人）の派遣を行うとともに、小学校及び幼稚園にも派遣し、英語学習と異文化理解等の活動を行った。 <p>①三郷中学校：1～3年生（15クラス）各クラス年間35時間 ②三郷小学校：5年生（4クラス）・6年生（4クラス）各クラス年間15時間 ③三郷北小学校：5年生（3クラス）・6年生（3クラス）各クラス年間15時間 ④南畑幼稚園：園児との交流会（年間5回）</p> <p>※LAN:Local Area Networkの略語。特定の場所や同一組織内での情報通信ネットワーク。 ※ALT:Assistant of Language Teacherの略語。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手。</p>	種類	台数	サーバ	1	クライアントPC (デスクトップ)	20	クライアントPC (ノート)	1	プリンタ	10	液晶プロジェクタ	1	種類	台数	サーバ	1	クライアントPC (デスクトップ)	15	クライアントPC (ノート)	6	プリンタ	10	液晶プロジェクタ	1	種類	台数	サーバ	2	クライアントPC (デスクトップ)	42	クライアントPC (ノート)	6	プリンタ	7	モバイルプロジェクタ
種類	台数																																			
サーバ	1																																			
クライアントPC (デスクトップ)	20																																			
クライアントPC (ノート)	1																																			
プリンタ	10																																			
液晶プロジェクタ	1																																			
種類	台数																																			
サーバ	1																																			
クライアントPC (デスクトップ)	15																																			
クライアントPC (ノート)	6																																			
プリンタ	10																																			
液晶プロジェクタ	1																																			
種類	台数																																			
サーバ	2																																			
クライアントPC (デスクトップ)	42																																			
クライアントPC (ノート)	6																																			
プリンタ	7																																			
モバイルプロジェクタ	3																																			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎教育コンピュータの設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から平成21年度までの整備期間で、パソコン及び周辺機器等、合計90台を新規設置し、町内すべての学校で情報教育の充実を図るための環境が整った。 <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度は新学習指導要領の完全実施に向けた移行期間となっており、平成23年度からは、小学校5・6年生で外国語活動が必須となるため、小学校におけるALT派遣を各クラス15時間確保することとした。【成果指標②】 平成22年度は、中学校を中心に合計735時間（授業コマ数）のALT派遣を行い、英語学習への関心や国際理解教育へ活かすことができた。【成果指標②】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①教育用コンピュータの整備	新PC設置台数(小中学校合計)	台	90	90	H21 25,477,200
						H22 0
	②ALT派遣	ALTによる授業時間(小中学校合計)	時間	720	735	H21 4,920,300
						H22 4,924,500
						H21
					H22	
					H21	
					H22	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①平成23年度からの新学習指導要領完全実施に向け、小学校におけるALTの派遣時間の確保と派遣人数の増員を図ること。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①中学校のALTが小学校にも派遣されているため、特に小学校において授業の打ち合わせ等の時間確保が困難となっている。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①ALTの派遣については、財政状況を勘案しながら、最終的に平成23年度において、各クラス35時間を確保できるよう、派遣人数の増加を検討する。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①財政状況を勘案しながら、小学校と中学校でALTの2人確保できるよう検討する。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・情報教育については、整備済みの校内LAN・パソコン環境を活用し、積極的な情報教育を推進する。</p> <p>・中学校及び幼稚園のALT派遣については、平成23年度から施行される「新学習指導要領」において、小学校5・6年生を対象とした外国語活動が必修となることから、年間35時間の授業数を確保できるよう、財政状況も勘案しながら、派遣回数又は人数を増加する。</p>

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑤
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした専門医によるメンタルヘルス相談や、中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 ・教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p> <p>○心の相談員 生徒の悩み、不安、ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる心の相談員を中学校に配置する。</p> <p>○メンタルヘルス相談業務委託 小中学生とその関係者のメンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健全な心身の保持増進に努める。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 <ul style="list-style-type: none"> 年間勤務日数 18日 相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> ①児童生徒：17件 ②保護者：1件 ③教職員：37件 合計：55件 主な相談内容 友人関係、学業、家族に関すること、生活全般など ※生徒へのカウンセリングのほか、保護者相談、教職員への助言も行った。 ※その他、教員研修として「思春期の子どもの理解と対応について」「保護者の理解と対応について」を実施。 ○心の相談員 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 <ul style="list-style-type: none"> 年間勤務日数 90日 相談ケース数 60件 主な相談内容 自分の性格、友人関係、学業など ○メンタルヘルス相談 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者、教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに委託し、専門機関による相談を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> ①児童生徒：2件 ②保護者：28件 ③教職員：13件 合計：43件
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度の不登校児童生徒数は、25人であった。 (不登校：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの) いじめや不登校、その他生徒の抱える問題が多様化してきた中で、三郷中学校では、 <ul style="list-style-type: none"> ①専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置【成果指標①】 ②生徒の悩みを気軽に相談できる心の相談員の配置【成果指標②】 ③専門機関での相談を行うためのメンタルヘルス相談業務の委託【成果指標④】 を実施し、生徒の状況に応じた相談を行った。 <p>※問題を抱える子ども等自立支援事業については、平成21年度で事業が終了したため、教職員による学習室登校の支援体制を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校においては、児童の悩み等を教師が親身になって相談に乗り、必要に応じてメンタルヘルス相談を紹介し、専門機関での相談へと引き継ぐ体制をとっている。 <p>※メンタルヘルス相談件数が大幅減となっているのは、平成21年度に特定の学校におけるあるケースで、数十回を超える相談があったため。</p>
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①スクールカウンセラー	相談ケース数	件	32	55	H21 0 H22 0
	②心の相談員	相談ケース数	件	50	60	H21 799,689 H22 800,000
	③問題を抱える子ども等自立支援事業	勤務日数	日	55	事業終了	H21 485,115 H22
	④メンタルヘルス相談業務委託	延べ相談件数	件	128	43	H21 600,000 H22 600,000

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、地域の人材を活用したフリースクールや適応指導教室等の活用について検討する。 ②問題を抱える子ども等自立支援事業が平成21年度で終了するため、新たな体制づくりが必要である。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①カウンセラーや相談員は中学校に配置しており、小学校でのケースに充分対応できていない。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①フリースクールや適応指導教室等の設置については、町単独では困難であり、今後必要性を含めた議論を生駒郡等の広域で行うとともに、学校支援ボランティアの活用も検討する。 ②問題を抱える子ども等自立支援事業学習室登校による支援を実施する。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ケースに応じてカウンセラーや相談員を小学校にも派遣する等、柔軟な対応を検討する。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> 今後も不登校問題をはじめ、児童・生徒のさまざまな課題に対応するため、相談体制の充実を図るとともに、状況に応じて、スクールソーシャルワーカー等の活用も検討する。 		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑦
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 ・まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 ・学校の環境美化や緑化などについて、各種団体や地域ボランティアの参加が得られるように図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎子ども人権学習支援事業【国・県補助事業】国1／3、県1／3、町1／3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、さまざまな子どもの活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図る。 ・各小中学校において、地域ボランティアの指導のもと、和太鼓、茶華道、ゲートボールなどさまざまな体験学習を実施する。 <p>◎学校支援地域本部事業【国委託事業】国の100%負担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動について、地域からボランティアを募り、学校の教育活動を支援する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども人権学習支援事業（活動実績）																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>30人</td> <td>27回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>茶華道クラブ</td> <td>三郷中学校</td> <td>2人</td> <td>11回</td> <td>茶道・華道の体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>12人</td> <td>17回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>46人</td> <td>17回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>教育総務課・ふれあい交流センター</td> </tr> <tr> <td>親子で遊び隊</td> <td>三郷小学校</td> <td>53人</td> <td>3回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>4人</td> <td>15回</td> <td>手話コーラス</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>57人</td> <td>7回</td> <td>軽スポーツ、お茶、調理実習など</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各活動の指導には、地域住民や各種団体の方に協力をいただいた。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	30人	27回	和太鼓の演奏	生涯学習課	茶華道クラブ	三郷中学校	2人	11回	茶道・華道の体験	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	12人	17回	ゲートボール体験	教育総務課	ふれあいクラブ	三郷小学校	46人	17回	和太鼓の演奏	教育総務課・ふれあい交流センター	親子で遊び隊	三郷小学校	53人	3回	デイキャンプ	教育総務課	にこやかクラブ	三郷北小学校	4人	15回	手話コーラス	教育総務課	つながり学級	三郷北小学校	57人	7回	軽スポーツ、お茶、調理実習など
活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																											
どんどん和太鼓	三郷中学校	30人	27回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																											
茶華道クラブ	三郷中学校	2人	11回	茶道・華道の体験	教育総務課																																											
多聞クラブ	三郷小学校	12人	17回	ゲートボール体験	教育総務課																																											
ふれあいクラブ	三郷小学校	46人	17回	和太鼓の演奏	教育総務課・ふれあい交流センター																																											
親子で遊び隊	三郷小学校	53人	3回	デイキャンプ	教育総務課																																											
にこやかクラブ	三郷北小学校	4人	15回	手話コーラス	教育総務課																																											
つながり学級	三郷北小学校	57人	7回	軽スポーツ、お茶、調理実習など	生涯学習課																																											
	◎学校支援地域本部事業																																															
	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、平成20年度から3年間の文部科学省委託事業であり、3年目の平成22年度は、昨年度の活動実績を基本としながら、さらに充実した活動を行うことができた。 <p>〈主な活動実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷小学校：登下校の安全確保、ヤギの診察、畑づくり、囲碁、プールの安全監視、パソコン指導補助、家庭科実習、平和学習、運動場の整備、運動会テント設営、卓球、一輪車、音楽会、本の読み聞かせ、昔遊び学習など ・三郷北小学校：わくわく農園、キラキラ池の整備（除草、整地、畑、めだかの飼育）、階段の補修、運動会テント設営、茶道体験、遊具塗装、外国語支援、家庭科実習、パソコン指導補助、本の読み聞かせ、花壇の整備、昔遊び体験など ・三郷中学校：図書の紹介、貸し出し、家庭科実習、校舎内生け花の設置、小菊栽培、職業体験など <p>〈ボランティア登録人数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人登録：105人 団体登録：106人 合計211人 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア成果報告会（ボランティア活動報告、学校からの謝意、県の指導・助言） 日 時：平成23年2月20日 場 所：三郷小学校・視聴覚室 参加者：60人 ・ボランティアアンケート実施：事業開始から3年目を迎え、ボランティア登録者に対して事業アンケートを実施した。回収率は68.9%となった。 <p>※アンケートの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動回数、登録のきっかけ、活動の動機、連絡状況、考え方の変化、事業の成果・意義、活動の課題、事業の今後の方向性など 																																															

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな体験を通して、学年間の交流や目標に向かって努力する姿勢を学ぶことができた。昨年度比でのべ700人弱参加者が増加した。【成果指標①】 ※各講座で文化祭や人権フェスタに出演。(出演回数：のべ5回) ・一部講座で参加人数が少なく、内容や募集方法の見直しが必要である。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業開始から3年目を迎え、ボランティアの数が200人を超えた。【成果指標②】 ・ボランティア活動が各学校で軌道にのり、数多くのボランティア活動を行うことができた。昨年度比1,000人増。【成果指標③】 ・アンケートは、68.9%の高い回収率となった。事業の成果として、①地域が一体となった学校づくり②学校や子どもたちの様子がよく分かる③地域への関心が高まる⑤学校の環境整備が図られる等、課題としては、①一緒に活動する協力者が少ない②活動時間の確保が難しい等の意見が多かった。 ・事業の方向性については、これまでと同じ方向性で、学校とボランティア双方に負担がかかり過ぎないようにするという意見が体勢を占めた。
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①子ども人権学習支援事業	参加人数(のべ)	人	1,744	2,436	H21 1,159,037 H22 1,625,375
	②学校支援地域本部事業1	ボランティア登録人数	人	184	211	H21 1,966,000 H22 1,834,558
	③学校支援地域本部事業2	ボランティア参加人数(各学校計・のべ人数)	人	1,460	2,445	H21 H22
						H21 H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子ども人権学習支援事業の参加人数が少ない活動の内容及び募集方法の見直し。 ②地域のコーディネーターを確保すること。 ③学校支援ボランティアの登録人数を増やすこと。 <hr/> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①登録はしているが、活動が少なくなっているボランティアへの対応。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三郷北小学校で講座の見直しを行った。 ②地域のコーディネーターについては、基本的に従来の方をお願いして確保するとともに、新たに各種団体にも協力をお願いした。 ③学校支援ボランティアの募集は、年度当初に加え、追加募集を随時行った。 <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校の協力を得ながら、ボランティア活動の提案を行う。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども人権学習支援事業は、内容を一部見直した上で継続する。 ・学校支援地域本部事業については、今年度の活動実績を基に、ボランティア活動をさらに充実させる。 ・平成23年度から国委託事業から補助事業に移行することから、町事業として予算化し、アンケート結果を踏まえながら、活動を継続・発展できるようにする。

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑥
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見まもり活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信を充実し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全確保をめざし、不審者情報等を携帯電話等にメール配信する。 ○さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアにご協力いただき、登下校時の通学路の巡視を行う。 合わせて、シルバー人材センターに委託し、小学校の下校時に安全巡視員を通学路に配置し、児童の安全確保を図る。 ○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の下校時に合わせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。 ○防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> 小学校及び幼稚園において、警察の協力により、防犯・交通安全教室を開催する。 <p>☆子ども110番の家（町長部局生活環境課所管事業：参考掲載「☆」印で示しています。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが犯罪などの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めたとき、子どもを保護し、関係機関へ連絡するなどして、子どもの安全を守る。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども情報ネット配信状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>件数</th> <th>町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※町内件数は、三郷町内で発生した不審者情報。</p>	不審者内容	件数	町内件数	声掛け	7	2	つきまとい	4	2	露出	4	2	痴漢	0	0	盗撮	1	0	傷害・犯罪	4	0	不審電話	0	0	合計	20	6	<p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報をメールで配信する。 <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の保護者、各種団体、関係団体など合わせて876人。（平成23年3月現在）
	不審者内容	件数	町内件数																										
声掛け	7	2																											
つきまとい	4	2																											
露出	4	2																											
痴漢	0	0																											
盗撮	1	0																											
傷害・犯罪	4	0																											
不審電話	0	0																											
合計	20	6																											
	<ul style="list-style-type: none"> ○さんごう子ども見まもり隊 <p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会</td> <td>12</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>15</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>町関係</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>457</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○下校時巡視委託 <ul style="list-style-type: none"> 通学路の危険箇所安全巡視員（シルバー人材センター）を配置し、各学校の登下校時及び放課後児童クラブの下校時における交通指導及び巡視を行った。 ①三郷小学校：4人（うち放課後児童クラブ1人） ②三郷北小学校：3人（うち放課後児童クラブ1人） ○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時に合わせて、役場全課の交代制により、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施した。 ①三郷小学校校区：年間44回 ②三郷北小学校校区：年間45回 ○防犯教室など <ul style="list-style-type: none"> 警察やNPOなどの協力により、各学校・幼稚園で、防犯教室を開催した。 警察の協力により新小学校1年生に防犯ベルを配布した。 <p>☆子ども110番の家</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録世帯数：700世帯（自治会、学校関係、各種団体など） 	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会	12	146	学校関係	7	112	各種団体	15	170	町議会	1	10	町関係	1	9	その他	1	10	合計	37	457	<p>【子ども安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携及び情報交換を図る場として、子ども安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。 			
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																											
自治会	12	146																											
学校関係	7	112																											
各種団体	15	170																											
町議会	1	10																											
町関係	1	9																											
その他	1	10																											
合計	37	457																											

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全対策に町全体の取り組みとして実施した結果、平成22年度においては、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害の発生はなかった。 ただし、不審者として寄せられる情報は昨年度と同数の20件となっており、減少していないため、今後さらに地域と連携した子どもの見まもりが必要である。 子ども情報ネットの登録人数は、昨年度から44人減少している。これは各小中学校が独自に配信する情報メールへの登録者（保護者）が増えているためと考えられる。【成果指標①】 子ども見まもり隊への登録、児童の安全巡回回数、青パトの巡回回数は、それぞれ昨年度から増加した。【成果指標②③④】 防犯教室は、児童や園児による参加型の研修を毎年実施しており、自分の身を守ることに對する良い意識づけの機会となっている。
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	920	876	H21 378,000
						H22 378,000
	②子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数 (累積人数)	人	435	457	H21 0
						H22 0
	③巡視委託	巡視回数(両小学校年間合計・のべ回数)	回	2,398	2,414	H21 1,995,804
H22 2,008,152						
④青パト	パトロール回数	回	85	89	H21 0	
					H22 0	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①子ども見まもり隊について、個人単位でより幅広く柔軟な活動ができる学校支援ボランティアへの登録者を増やす。</p> <p>②子ども見まもり隊について、協力団体により温度差があり、一部団体で負担が大きくなっている。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①放課後児童クラブの下校時に見まもり隊の参加が少なく、特に冬場は児童の安全確保の心配がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①学校支援地域本部事業を通じて、ボランティアの募集を行い、登録を呼びかけた結果、19人（昨年度比7人増）の登録があった。</p> <p>②子ども見まもり隊は、強制ではないので、事業の趣旨を理解していただくよう努めるとともに、PTA等にも学校を通じて積極的な協力をお願いした。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①周辺地域に見まもり隊への協力を呼びかけるとともに、予算状況を勘案しながら、シルバーの巡視人数の増員も検討する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・今後も町全体の取り組みとして、地域との連携を図り、事業を実施する。</p> <p>・子ども情報ネットや子ども見まもり隊への協力依頼や周知方法を検討し、登録人数を増やすよう努力する。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の④
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる学校給食センターについて、建て替え事業を進めます。 ・「学校給食衛生管理基準」に則り、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○安全安心の学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理そして職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する観点から、より多くの地場産の野菜等を使用して安全安心の学校給食を提供する。 ・職員の資質向上を図るため、県の調理員研修に参加する。 <p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。 <p>○給食センターの建替【国庫補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所以来、30年余りが経過し、施設、設備等の老朽化が著しいため、給食センターの建替事業を実施する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○安全安心の学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公立幼稚園・小中学校において、センター方式による学校給食を実施している。また、幼稚園・小学校で保護者を対象に給食試食会を実施し、197人が参加した。 ・児童生徒に安全・安心な学校給食を提供するため、できる限り、国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜を積極的に使用した。 ・国の学校給食地場農畜産物利用促進事業を実施して、奈良県産品の使用に努めた。 ・県が実施している調理員研修にも積極的に参加して、職員の資質の向上に努めた。 <p>①学校給食衛生管理指導者実技講習会（7月28日） 参加人数：2人 ②学校給食調理員研修会（8月20日） 参加人数：8人 ③衛生講習会（8月27日） 参加人数：9人</p> <p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校で食に関する指導の全体計画を作成し、実践している。具体的には、生活科・家庭科・総合的な学習の時間における食に関する指導や給食に関わる指導を実施した。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科等授業時間数：27.5時間 ・給食指導時間数：35時間 ・個別指導その他：3回 <p>○給食費の滞納状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費の滞納者に対しては文書等での督促、家庭訪問での徴収、奈良簡易裁判所へ支払督促の申立により滞納の解消に努めた。 <p>【平成22年度末現在滞納状況】</p> <p>①滞納繰越額(平成15年度～平成21年度) 465,200円(12人) ②徴収額 373,500円(8人) ③平成22年度末滞納繰越額 91,700円(4人) ④平成22年度分滞納額(現年度分) 534,300円(18人) ☆平成22年度滞納繰越額(合計) 626,000円</p> <p>○給食センター建替事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会の合意を得られるよう最大限努めたが、最終的に理解を得られず、建替事業は一時休止となり、建設場所を含めて再検討することとなった。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を実施できた。 ・夏休み等を利用し、調理員の研修を重点的に行い、資質向上を図ることができた。 ・給食試食会や食育指導事業を通じて、給食に対する理解が深められた。【成果指標①②】 ・給食費の滞納整理については、平成21年度末の滞納額465,200円から平成22年度末は626,000円となり、平成21年度末に比べて、160,800円増額となった。 <p>※過去の滞納分は着実に減少しているものの、現年度分の繰越が毎年発生しているため、対策が必要である。【成果指標③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センター建替事業については、平成21年度、地元の理解が得られず建設事業を進めることはできなかった。平成22年度については、一時休止状態である。【成果指標④】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①給食試食会	参加人数	人	234	197	H21 H22
	②食育指導	延べクラス数	クラス	61	61	H21 H22
	③給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	12	22	H21 465,200 H22 626,000
	④給食センター建替事業	設計委託料	円	15,204,000	0	H21 15,204,000 H22 0

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①給食費の徴収については、過年度分は着実に減少しているが、現年度分の繰越が毎年発生しており、対策を考える必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①給食センター建替事業について、早急に場所等の検討を行い、新給食センターの建設を検討する。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①現年度分の繰越については継続的な課題であり、学校から保護者に働きかけるとともに、子ども手当が支給されていることから、口座から給食費を引き落とすように働きかけ、給食費の滞納を解消する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①新たに建設される新給食センターについては、町の重要施策として町長部局との連携を図りながら、町全体の取り組みとして早急に場所、規模等の内容を決定する。</p>

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・今後も地産地消を推進し、安全安心の学校給食を実施する。</p> <p>・給食費の滞納整理については、学校と連携・協力しながら、特に現年度分の未納解消に努める。</p> <p>・新給食センターについて、早急に具体案を策定する。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	南畑幼稚園 (教育総務課)	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・新幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を担う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培う教育に努める。 ・幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育てるべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指して、幼稚園の機能を活かして預かり保育や園庭開放・教育相談を行い子育て支援に努める。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○バザー及び模擬店（やまびこ祭） <ul style="list-style-type: none"> ・PTA事業として、協力体制、実施方法、改善方法をPTA役員と協議しながら7月第1土曜日に実施した。 ○奈良県教育週間（11月） <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県幼稚園教育研究会による子ども作品展を実施、出展した。 ・地域の教育力の向上と地域に開かれた幼稚園づくりを目的に、地域の方と保護者が保育参加する幼稚園ウィークを実施した。 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> 3歳児：親子で地元の良さをよりよく知るため、信貴山寺周辺の散策 4歳児：親子で玉ねぎの苗植え、木工看板作り 5歳児：ゲストティーチャー（地域の方々）による竹とワラのポックリ作り ○特別支援教育 <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする園児への対応として、個別指導計画の作成と保護者や関係機関との連携を図りながら、教員の指導力向上に努めた。 ・「HAHAHAキャラバン隊」（自閉症親の会）による、保護者への参加型講演会を実施した。 ○食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、手作り弁当日を設定し、保護者に食育の大切さを考えていただく機会とした。 ・5月に給食参観と重ねて、PTA人形劇「ともとも」による食育に関する人形劇を親子で鑑賞した。 ・学校給食センター栄養教諭による、保護者参加の食育に関する講演会を実施した。 ・5歳児が中心となり、地域の方々の指導を受けながら園内菜園を行った。 ・8月の園庭開放では園内菜園で収穫された野菜を使ってカレーライス作りを行い親子で食す機会とした。 ○子育て支援及び預かり保育 <ul style="list-style-type: none"> ・保育終了後に園庭を解放して、園児の成長を共有することから、保育内容理解の推進や家庭教育の啓発、子育て相談を行う「にこにこランド」を年間9回実施した。 ・特別な事情（家庭の通院や介護等、兄弟の授業参観等）で緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育が必要な場合に、個々の事情に応じて預かり保育を行った。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が地域の方や身近な人とかかわる機会や、様々な経験ができる機会を意図的にもつことで、調和のとれた心身の発達を促すことができた。 ・ P T A 事業のバザー及び模擬店は、保護者の意識の変化により開催の仕方を検討する必要があるが、幼児にとっての教育的意義はもとより、P T A 役員の開催後の達成感にもつながっている。 ・ 預かり保育については、緊急の場合、または一定の条件を満たす場合行っている。拡張を求める声もあるが、現状維持で対応している。【成果指標①】 ・ 園庭開放「にこにこランド」では、親子のふれあいを意識した活動を多く取り入れることで、共に楽しむ時間となり、保護者への幼児教育啓発にも有意義であった。その反面、幼児の育ちについて教員と保護者が話す機会が少なくなったという意見もあった。【成果指標②】
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①預かり保育	実施回数	回	28	28	H21 H22
	②園庭開放「にこにこランド」	実施回数	回	10	9	H21 H22
						H21 H22
						H21 H22
						H21 H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①地域の実態や保護者の実情を考慮しながら、保育時間や日数、預かり保育について配慮すること。 ②様々な行事を円滑に進めるためにバス添乗等の人員確保。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①園庭開放「にこにこランド」では、保護者との対話を自然な形でもつための工夫が必要。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①保育時間拡張や預かり保育の弾力的な運用については、現状のスタッフ体制では不可能である為、人員配置を含めて今後の検討課題である。 ②園長、主任もバスのローテーションに加わっているが、円滑に進まないこともある。非常勤職員の業務内容にバス添乗を加える。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①幼児には園庭を開放し、保護者にはクラスごとに集まり話す場所を提供することで、教員と子育てについて、会話する機会を増やす。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・ 今後も地域や保護者から信頼される幼稚園をめざし、現状に満足せず、教育内容を工夫しながら園の充実を図る。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①放課後児童クラブの充実	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第1節の④
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や夏・冬休み時に子どもが集まって、学習や遊びを通して自主性や社会性・想像力を養えるよう放課後児童クラブを推進します。 ・放課後児童クラブにおいて、障害のあるなしに関わらず、ともに参加できるよう関係者の理解やボランティア活動の促進に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎放課後児童クラブの運営【国庫補助事業】※補助額4,798,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が労働等により昼間家庭において保育できない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的に、小学校の空き教室を利用して、町が運営主体となり、放課後児童クラブを設置する。 <p>①対象：町内小学校に就学している概ね10歳未満（1年生～4年生）の児童</p> <p>②名称：三郷小学校放課後児童クラブ（定員35人） 三郷北小学校放課後児童クラブ（定員70人）</p> <p>③開所時間：学校授業日 午後2時～午後6時 学校休業日 午前9時～午後6時</p> <p>④休所日：土、日曜日及び祝日（年末年始） ※7・8月を除く、第2土曜日は事前申込制により開所。</p> <p>⑤育成料：毎月5,000円（ただし、申請により減免措置あり。）</p>
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○入所人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>放課後児童クラブ名</th> <th>入所人数(人)</th> <th>うち特別支援(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校放課後児童クラブ</td> <td>34</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校放課後児童クラブ</td> <td>70</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入所人数は年間平均</p>	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	うち特別支援(人)	三郷小学校放課後児童クラブ	34	2	三郷北小学校放課後児童クラブ	70	3
	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	うち特別支援(人)							
三郷小学校放課後児童クラブ	34	2								
三郷北小学校放課後児童クラブ	70	3								
<p>○製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノを作る楽しさ、自分で工夫し創造する楽しさを体感させるため、下記の製作を行った。また作品については、保護者等へのプレゼントにすることにより、日ごろの感謝の気持ちを表し、家族の絆を再確認できる機会となった。 ①春の製作：印章 ②クリスマス製作：ランプシェード ③正月製作：祝い箸 <p>○伝承遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる遊びを通じて、日本の文化を再認識し、また友だちと集団で遊ぶ楽しさを実感させるため、冬期に下記の伝承遊びを実施した。また、目標をクリアしていく達成感や児童のやる気を喚起させるため、検定票を作成し、成績上位者にはメダルの授与を行った。 ※こま、なわとび、けん玉 <p>○指導員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の資質の向上を図るため、県の児童福祉施設等職員研修（前期3回、後期2回）に参加した。 ・内容：①講演：発達障害のある子どもたちへの支援 ②遊びの広場への参加（遊びに関する知識を深める。） <p>○育成料の減免</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯の方を対象に、毎月の育成料の減免を行った。 ※減免者数：23人 <p>○特別な支援を要する児童の受け入れ及びボランティアの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブでは、特別な支援を要する児童についても受け入れている。 ・夏期休業中、広報で募集した大学生のボランティア指導員（8人）の活用を図った。 										

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所者については、両放課後児童クラブとも、年間を通して定員一杯となり、待機者が発生したため、今後入所要件の検討を行う必要がある。【成果指標①】 三郷小学校：当初0人→最終4人 三郷北小学校：当初1人→最終2人 日々の通常保育だけでなく、製作や伝承遊びなどを盛り込んで、保育内容の充実を図るとともに、学校支援ボランティアによる囲碁教室を毎週開催するなど、地域の方との触れ合いも取り入れた。 県の研修は特別支援をテーマにしており、特別な支援を要する児童も入所（5人）していることから、有益な研修となった。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①放課後児童クラブ運営	入所人数 ※決算額は運営費	人	89	104	H21 13,393,574 H22 15,283,213
	②育成料の減免	減免者数	人	22	23	H21 H22
						H21 H22
						H21 H22
						H21 H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①三郷北小学校放課後児童クラブで使用している1年生の空き教室は、今後クラス数の増加により、空き教室を学校へ返却しなければならない状況も考えられるため、単独施設の設置も含め、運営場所を検討する必要がある。</p> <p>②特別な支援を要する児童への対応も必要なことから、指導員の適切な人員配置と資質向上に努める。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①両クラブとも平成22年度は定員を超え、待機者が発生したことから、入所要件の大幅な見直しを行う必要がある。</p> <p>②長期休業中の開所時間の拡大の要望が大きいこと。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①平成22年度においては、クラス数の増加はなかったが、今後三郷北小学校放課後児童クラブについては、入学者数を調査しながら、対応を検討する。</p> <p>②常勤の指導員を1人増員するとともに、特別な支援を要する児童への対応として、該当児童が多い日は、通常以上に指導員を加配し、きめ細かな対応ができるよう努めた。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①放課後児童クラブの入所要件を抜本的に見直し、就労状況やその他保育に欠ける事情を点数化し、より必要度の高い児童から入所できるように手続きの改正を行う。</p> <p>②近隣の状況も踏まえながら、平成23年度中に検討を行う。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・放課後児童クラブのニーズは、年々増加しており、入所要件や開所時間の見直しを行うとともに、将来的には、新入学児童数や財政状況を勘案しながら、施設の拡充も段階的に検討していく必要がある。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑫生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の①
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 ・知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制の構築を図ります。 ・各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生をおくることができるよう、多様な分野における学習活動の場を提供する。 ○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に伴い活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 ○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○学習基盤の整備 社会情勢や住民ニーズの情報を取り入れ、時代に沿った学習内容とする。				
	○各種学級の運営状況				
	学級名	目的	事業内容	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	地域社会の中で、子どもの家庭教育の重要性や役割を認識し、子育て等に関する学習の機会を通して家庭の活性化を図るとともに、学級生のネットワーク機能を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講演会 ・調理学習 ・健康学習 ・教養講座 ・施設見学ほか 	27人	11回
	長寿学級	熟年者として時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を求め、自主的な学習活動を通じて生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツ ・環境学習 ・健康学習 ・教養講演会 ・施設見学ほか 	141人	12回
	くれない学級	教養を高め自主的・意欲的な学習活動を行い女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講座 ・歩く会 ・環境学習 ・健康学習 ・社会見学ほか 	63人	11回
	歴史教室	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・現地学習ほか 	110人	15回
	みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ個々の知識を深めるとともに、町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・現地学習ほか 	62人	14回
婦人学級	教養の向上と視野を広げるため、生涯学習として自主的に研修し、女性の地位向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講演会 ・健康学習 ・男女共同参画研修 ・施設見学ほか 	36人	9回	
※上記学習のほか、6学級合同学習会として、7月に「人権学習会」、2月に「健康福祉学習会」を開催した。					

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習学級として、「家庭教育学級」、「長寿学級」、「くれない学級」、「歴史教室」、「みさと万葉学習会」、「婦人学級」の6学級を開催した。【成果指標①】 各学級の運営は各運営委員会により事業内容等を検討するなど、学級の自主的な運営が実施できた。 学級の内容等について、一部の学級でアンケートを実施し、学級の運営が良かったという意見がほとんどであった。 <p>○地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級の開催における講師等には、地域の機関・団体や個人を招き人材を活用するとともに、町外の講師を招き、内容の充実に努めた。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)	
②成果指標	①生涯学習学級	登録者数	人	481	439	H21 1,131,707	
						H22 727,950	
							H21
							H22
							H21
							H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①開催している生涯学習の学級がここ数年同じ内容で推移している。受講者には人気があり継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確にとらえながら新しい学級や講座の開催を検討することが必要である。</p> <p>②生徒が減少している生涯学習学級があり、学級の内容等を検討する必要がある。</p> <p>③各種学級の参加者にアンケートを実施し、住民のニーズを反映する必要がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①学級や講座の開催については、住民ニーズ等を把握し、必要に応じ学級運営の見直しや新設を検討したが、本年度も前年度同様の学級体制のニーズがあり同じ学級運用する。</p> <p>②生徒が減少している生涯学習学級の対策として、現学級を魅力ある学級として運営の改善を図るため今後もカリキュラムの検討を行う。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> 住民が主体的に学習ができる学級運営を行う。 地域の社会資源を掘り起こし活用する。 		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬青少年の健全育成	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑧
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の健全育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体が緊密な協力により、広く町民の総意を結集し次代を担う青少年の健全な育成を図る。 ①親子のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・活力と創造性に満ちた青少年を育成するとともに、親子・地域社会等のふれあいを築くことを目的とする。 ②教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的として講演会を開催する。 ③非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・有害図書類等に対する立入調査の実施（年1回）。また、関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。 ○成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 <ul style="list-style-type: none"> ①指導推進部会 <ul style="list-style-type: none"> 幼保小中高の様子や長期休み期間の生活の様子などについて意見交換を行い、情報を共有すると共に各学校園に持ち帰り児童生徒の等の指導にあたる。 ②調査研究部会 <ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月4日に児童養護施設「大和育成園」を訪問し、施設概要や子ども達の状況について講演をしていただいた。 ③啓発促進部会 <ul style="list-style-type: none"> 町民会議の各種事業について、関係機関等に事業開催の案内やポスターの作成及び掲示を行った。 ④地域活動部会 <ul style="list-style-type: none"> 親子のつどいの開催について部会を開催し、関係機関と協議・連携を行い事業を実施した。 ⑤関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> 「三郷町児童虐待防止ネットワーク」や「人権・児童館連絡会」と連携を図り、幼児・児童生徒がおかれている現状を認識し、青少年の健全育成を図った。 ○親子の集い <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年11月23日に「親子のつどい」を開催し、カレー作りや味覚狩り等を行い、親と子、子ども同士のつながりを図ることができた。 ○教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年11月10日に「教育講演会」を開催し、講師としてゴスペル歌手市岡裕子さんによるトーク&ゴスペルコンサートを開催した。 ○非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・平郡町と三郷町合同による有害図書等の巡視を11月18日に実施した。 ・関係機関の協力のもと、学校の長期休み期間に町内を公用車において巡視した。 夏休み期間 7月20日・22日・27・29日、8月3日・5日・17日・19日・24日（巡視時間 19時30分～21時30分） 春休み期間 3月24日・28日・29日 ○成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターにおいて実施した。 日時 平成23年1月9日 参加人数 142人
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の協力・連携を図り、各部会の活動も予定どおり行うことができ、青少年の健全な育成が図られた。 ○親子のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年11月23日に実施し、114名の参加があった。【成果指標①】 ○教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年11月10日に実施し、304名の参加があった。【成果指標②】 ・参加者に対しアンケートを実施したところ、多くの方が講演内容について良かったと評価され、今後も参加したいとの意見が多かった。 ○非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・12回の巡視を活動を行い2件の指導を行った。【成果指標③】 ○成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者224人に対し参加者が142人であり、出席率として63.4%であった。成果指標④】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)	
	①親子のつどい	参加人数	人	中止	114	H21	403,585
②教育講演会	参加人数	人	中止	304	H22	718,114	
③非行防止巡視	巡視回数	回	11	12	H21	286,955	
④成人式	参加人数	人	160	142	H22	205,955	
					H21		
					H22		

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・巡視において青少年に対して指導は行うが、補導等の権限がなく警察との連携が必要となっている。 ②成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者がここ数年減少しており、参加率の向上が必要である。
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①警察との連携として、所轄の警察署や交番に巡視時に同行を依頼する。 ②成人式の参加率を向上させるため、新成人が成人式に関心をもつ内容になるよう、新成人の意見などを取り入れる。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	・青少年の育成は地域の協力が必要不可欠であり、今後も関係機関等が連携を密に図りながら取り組みを行う。	

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑭人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第4章・第1節の①②
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 ・行政、関係機関・団体の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・教育を受ける権利を保障されなかった方に文字などを学習する機会を提供する。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な問題としてとらえ人権確立を図る。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・木曜日に学級を実施し、登録者は学習意欲が高く熱心に学習されていた。 登録者数：5人 ※学習内容としては、文字の練習、数字の計算等を学んだ。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・本年は、児童虐待が社会問題となっていることから、「子どもの人権を守る ～ 児童が虐待の現実に学ぶ」をテーマに町内15会場で開催した。 延べ参加人数：490人 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・年間5回のセミナーを行った。 内容は講座として「身近な生活の中での人権を確かめ考える」・「共に生きる、つながる合って、支えあって～わたしもあなたも生まれてきてよかった、生きていてよかった」を演題として3回開催した。 また、現地学習として御所市の「水平社博物館とその周辺」・堺市の「舳松人権歴史館」及び「平和と人権資料館」の現地に赴き学習を行った。 延べ参加人数：281人 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図り、「第22回人権を確かめあう県内一斉集会」、「町民集会」などの人権に関わる事業を共に行った。 ・随時人権相談に応じるとともに、児童虐待防止ネットワークなどとも連携を図り問題解決にあたった。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○識字学級 ・週2回の開催計画であったが、登録者の都合により休校した日もあり、年間50回の開催となった。 【成果指標①】</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・参加者が前年度に比べ増加した。また、参加者にアンケートを実施したところ、多くの方が児童虐待が身近な問題であるという理解や地域ぐるみでの取り組みの大切さを認識していただいた結果が分かった。【成果指標②】</p> <p>○人権問題学習セミナー ・参加者が前年度に比べ増加した。また、人権に関する講座や現地学習を行うことにより、共に生きる地域づくりが図られた。【成果指標③】</p> <p>○人権に関する相談や対応 ・現在、児童虐待において経過を見ているケースもあり、引き続き見守りが必要となる。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
		①識字学級	実施回数	回	50	50
	②人権教育地区別懇談会	参加者数	人	472	490	H21.....242,523 H22.....362,150
	③人権問題学習セミナー	参加者数	人	237	281	H21.....277,800 H22.....211,950
						H21..... H22.....
						H21..... H22.....

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①識字学級 登録者の高齢化や健康上の都合から出席人数が減っており、登録者全員の出席が望まれる。</p> <p>②人権教育地区別懇談会 参加者数が近年横ばいであり、一人でも多くの参加が望まれる。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①識字学級は、出席人数を増やすため、町広報等で生徒募集を行う。また、登録者が参加しやすい曜日や時間帯を検討したが、現行での運用で行うこととした。</p> <p>②人権教育地区別懇談会は、参加者数の増加のため、自治会をはじめ関係機関へ周知をより一層行うとともに、懇談会のテーマについても社会情勢などを把握しながら取り組んでいく。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・人権は誰もが持っている普遍的な権利であり、差別のない人権が尊重される地域社会を目指すため、情報や学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑮文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の②
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 ・施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 ・施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味などの自主的な活動のために集う住民グループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種公開講座・文化教室 <ul style="list-style-type: none"> ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうための各種学級や文化教室などの事業を実施する。 ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用しより充実した文化センターの管理運営を行うため、(財)三郷町文化振興財団を指定管理者としている。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○^主公開講座 <ul style="list-style-type: none"> ・映像歴史教室 延べ受講者数 51人 5回開催 ・源氏物語 延べ受講者数 45人 5回開催 ○文化教室 																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>内 容</th> <th>延受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陶芸</td> <td>基礎をマスターし、器など生活用品を完成させる</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>パッチワーク&お針物</td> <td>パッチワークに多彩な手芸をプラスして楽しむ</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>絵手紙</td> <td>身近な材料をテーマに色彩豊かに表現する</td> <td>168人</td> </tr> <tr> <td>らくらくクッキング</td> <td>冷蔵庫にある材料を使って簡単にヘルシーな料理を行う</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>メンズクッキング</td> <td>男性の初心者を対象に、和・洋・中の基礎をマスターする</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>ボイストレーニング</td> <td>どこでも楽しく歌えるよう、発声法から始める</td> <td>301人</td> </tr> <tr> <td>ピアノ</td> <td>一曲をひきこなせるまで個人レッスン形式で学ぶ</td> <td>167人</td> </tr> <tr> <td>初歩の英語</td> <td>単語・発音に始まり簡単な会話ができるまで学ぶ</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>フラダンス</td> <td>音楽に合わせて美容と健康を維持する</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>気功</td> <td>18気功を学び、呼吸を整えて全身をリラックスさせる</td> <td>268人</td> </tr> <tr> <td>ヨーガ</td> <td>やさしい体操と呼吸法で免疫力を高める</td> <td>267人</td> </tr> <tr> <td>やさしい太極拳</td> <td>ゆるやかな動きで体力づくりを行う</td> <td>336人</td> </tr> <tr> <td>ボディメイク</td> <td>使わない筋肉をアップし、しなやかな体づくりを行う</td> <td>271人</td> </tr> <tr> <td>キッズダンス</td> <td>いろいろなステップと音楽で楽しくダンスングをする</td> <td>198人</td> </tr> <tr> <td>子どもフィットネス</td> <td>音楽とボール・縄等を使ってリズム感と運動力を高める</td> <td>296人</td> </tr> <tr> <td>健康ストレッチ</td> <td>社交ダンスの基礎をベースに姿勢を美しくする</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table>	教室名	内 容	延受講者数	陶芸	基礎をマスターし、器など生活用品を完成させる	150人	パッチワーク&お針物	パッチワークに多彩な手芸をプラスして楽しむ	161人	絵手紙	身近な材料をテーマに色彩豊かに表現する	168人	らくらくクッキング	冷蔵庫にある材料を使って簡単にヘルシーな料理を行う	93人	メンズクッキング	男性の初心者を対象に、和・洋・中の基礎をマスターする	224人	ボイストレーニング	どこでも楽しく歌えるよう、発声法から始める	301人	ピアノ	一曲をひきこなせるまで個人レッスン形式で学ぶ	167人	初歩の英語	単語・発音に始まり簡単な会話ができるまで学ぶ	114人	フラダンス	音楽に合わせて美容と健康を維持する	136人	気功	18気功を学び、呼吸を整えて全身をリラックスさせる	268人	ヨーガ	やさしい体操と呼吸法で免疫力を高める	267人	やさしい太極拳	ゆるやかな動きで体力づくりを行う	336人	ボディメイク	使わない筋肉をアップし、しなやかな体づくりを行う	271人	キッズダンス	いろいろなステップと音楽で楽しくダンスングをする	198人	子どもフィットネス	音楽とボール・縄等を使ってリズム感と運動力を高める	296人	健康ストレッチ	社交ダンスの基礎をベースに姿勢を美しくする	101人
	教室名	内 容	延受講者数																																																	
	陶芸	基礎をマスターし、器など生活用品を完成させる	150人																																																	
	パッチワーク&お針物	パッチワークに多彩な手芸をプラスして楽しむ	161人																																																	
	絵手紙	身近な材料をテーマに色彩豊かに表現する	168人																																																	
	らくらくクッキング	冷蔵庫にある材料を使って簡単にヘルシーな料理を行う	93人																																																	
	メンズクッキング	男性の初心者を対象に、和・洋・中の基礎をマスターする	224人																																																	
	ボイストレーニング	どこでも楽しく歌えるよう、発声法から始める	301人																																																	
	ピアノ	一曲をひきこなせるまで個人レッスン形式で学ぶ	167人																																																	
	初歩の英語	単語・発音に始まり簡単な会話ができるまで学ぶ	114人																																																	
	フラダンス	音楽に合わせて美容と健康を維持する	136人																																																	
	気功	18気功を学び、呼吸を整えて全身をリラックスさせる	268人																																																	
	ヨーガ	やさしい体操と呼吸法で免疫力を高める	267人																																																	
	やさしい太極拳	ゆるやかな動きで体力づくりを行う	336人																																																	
ボディメイク	使わない筋肉をアップし、しなやかな体づくりを行う	271人																																																		
キッズダンス	いろいろなステップと音楽で楽しくダンスングをする	198人																																																		
子どもフィットネス	音楽とボール・縄等を使ってリズム感と運動力を高める	296人																																																		
健康ストレッチ	社交ダンスの基礎をベースに姿勢を美しくする	101人																																																		
○文化センター利用者数																																																				
文化ホール	11,616人																																																			
展示室	4,540人																																																			
会議室・研修室	18,845人																																																			
その他	44,049人																																																			
合計	79,050人																																																			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○公開講座 ・公開講座として「映像歴史教室」及び「源氏物語」の2講座を延べ10回開催し、計画を達成するとともに、歴史のロマンに親しむことができた。【成果指標①】</p> <p>○文化教室 ・平成22年度は、住民ニーズを反映し講座内容を全面的に見直し、新しい教室を多数開催した。また、予定していた17教室の内、2講座が定員割れをしたため、別の講座を企画し再募集した。後期には1講座を新たに追加した。この結果、平成22年度の講座参加者数は昨年度から大幅に増加した。【成果指標②】</p> <p>○文化センター利用状況 ・利用者は若干減少したが、住民の多様な学習等に応じることができる施設を備え、活動の場として多くの利用者にサービスの提供ができた。【成果指標③】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
		①公開講座	参加者数	人	110	96
H22 145,000						
	②文化教室	参加者数	人	2,379	3,251	H21 2,008,400
						H22 2,511,000
	③文化センター	利用者数	人	82,473	79,050	H21 35,537,107
						H22 36,815,539
						H21
						H22
						H21
						H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①文化教室 ・住民が希望する文化活動等ができるよう住民ニーズを把握し、有効な施設利用をするための工夫が必要である。</p> <p>②施設の維持管理 ・施設が経年劣化により不具合や故障が出ていることから、計画的な改修が必要である。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化教室は、住民の希望する文化活動を把握するため、アンケートの実施等により、社会情勢を的確にとらえ、施設の有効活用を行う。</p> <p>②施設の営繕については、緊急度や財政状況を勘案しながら計画的に改修を行う。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・今後も指定管理者としての事業展開も併せ、施設の機能をフルに活用し、住民の文化活動の拠点となるよう有効的な運用を行う。</p>		

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動団体について、地域の文化活動を支える人たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持たせ、会員の輪を広げていきます。 今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを整備する。 ○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各諸団体の活動及び運営に要する経費を予算の範囲内で補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会 ③三郷町子ども会連合会 ④三郷町文化祭実行委員会 ⑤三郷町芸術祭実行委員会
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師の選定において、地域の団体・個人と連携を図ることに より指導者の掘り起こし及び講師としての協力を得ることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ①家庭教育学級 7回（美容教室、健康体操、教養講座等） ②長寿学級 6回（環境学習、防犯・防災教室等） ③くれない学級 6回（調理学習、フラダンス、健康体操等） ④子ども人権学習支援事業 6回（軽スポーツ、ゲートボール、調理体験等） ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会（補助金額：320,000円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：町の文化活動の中核団体として、文化の振興と向上、会員相互の親睦を図り、かつ個人の教養を高める。 主な事業：総会、第3回文化協会まつり、人権学習会を開催し、随時役員会を開催。 第42回町民文化祭の運営に協力するとともに、研修会等を開催し会員の知識の向上を図ることができた。 ②三郷町地域婦人団体連絡会（補助金額：360,000円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：会員相互の親睦を図り、教養を高め家庭生活の樹立と平和で民主的な社会の建設に努めるとともに、女性の地位向上を目指す活動の支援・協力をを行う。 主な事業：総会、環境学習等の学習会、町の各事業への参加、また、老人福祉施設へのボランティアを行った。 ③三郷町子ども会連合会（補助金額：266,000円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：子どもたちの健全育成を図るとともに、三郷町子ども会連合会活動を通して地域の連帯力と子どもたち一人ひとりの社会生活能力を高める活動の支援・協力をを行う。 主な事業：総会、子ども会の日（8月8日）にプール遊び等を実施。他に、リーダー研修会、まぜこじりの会、どろんこあそびの会等を開催した。 ④三郷町文化祭実行委員会（補助金額：689,580円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：町民文化祭の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：第42回町民文化祭を開催し地域文化の振興を図ることができた。 ⑤三郷町芸術祭実行委員会（補助金額：358,135円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：三郷町芸術祭の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：町民と近在住民の芸術に対する関心を高めるとともに、交流振興を図ることを目的に「第23回三郷町芸術祭」を開催し、115点の作品が出展され、886人の来場者があった。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を行う機会において、地域の指導者の協力を得て活用することができた。 ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付した。【成果指標①】 ○三郷町文化祭実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年10月23・24日に町内の多くの団体との協働により、第42回町民文化祭を開催し、多数の来場者があった。【成果指標②】 ○三郷町芸術祭実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年9月9～12日に第23回三郷町芸術祭を開催し、115点の作品の出品があった。昨年度に比べ来場者が減少しているが、町内外の文化の振興、芸術の向上が図られた。【成果指標③】 ・参加者にアンケートを実施したところ、多くの方が現行の開催方法で良いとの意見であった。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①各団体への補助金	補助金額	円	968,000	946,000	H21.....968,000
						H22.....946,000
	②三郷町文化祭実行委員会	参加団体数	団体	中止	83	H21.....551,907
						H22.....689,580
	③三郷町芸術祭実行委員会	来場者数	人	1,200	886	H21.....355,433
						H22.....358,135
					H21.....	
					H22.....	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の事業実施に伴い、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数が年々減少しており、会員を増加し、組織力を強化する必要がある。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人材を掘り起こすため、地域や団体・機関と連携を図り、指導者等の人材確保と支援に努める。 ②婦人会の会員を増加させるため、広報等で周知を図り、会員の増強を図る。 <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に埋もれている貴重な人材掘り起こし、様々な学習活動の支援をいただくとともに、指導者の育成及び支援を合わせて行う。 ・現在活動をされている団体・個人に対しても引き続き支援を行う。

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第3節の④
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○資料情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・町民の求める資料情報をできる限り幅広く収集し、提供する。 ○子どもの読書の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向けにブックスタート、ゆりかごおはなし会を実施するとともに、児童生徒に対しては毎週日曜日のおはなし会、土曜の午後のおはなし会や夏のつどい、冬のつどいなどを実施し、夏休みには本の森探検隊事業により、子どもの読書推進を図っていく。 ○一般成人向け講演会など生涯学習事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日に映画上映会を行うとともに、ギターマンドリンコンサートなどの演奏会や講演会などを実施して、生涯学習の場として憩いの空間を提供する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○平成22年度統計	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>218,141冊</td> <td>222,253冊</td> </tr> <tr> <td>入館者数</td> <td>190,703人</td> <td>204,765人</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>92,972人</td> <td>92,619人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>286,679冊</td> <td>287,177冊</td> </tr> </tbody> </table>			平成21年度	平成22年度	蔵書冊数	218,141冊	222,253冊	入館者数	190,703人	204,765人	貸出人数	92,972人	92,619人	貸出冊数	286,679冊	287,177冊																																	
		平成21年度	平成22年度																																																
	蔵書冊数	218,141冊	222,253冊																																																
	入館者数	190,703人	204,765人																																																
	貸出人数	92,972人	92,619人																																																
	貸出冊数	286,679冊	287,177冊																																																
	○図書館行事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>概要</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート</td> <td>7ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う。</td> <td>189人</td> </tr> <tr> <td>ゆりかごおはなし会</td> <td>0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う。</td> <td>264人</td> </tr> <tr> <td>おはなし会</td> <td>毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う。</td> <td>1,224人</td> </tr> <tr> <td>土曜の午後のおはなし会</td> <td>土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>夏のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>映画上映会</td> <td>名作映画の上映会を実施した。</td> <td>2,850人</td> </tr> <tr> <td>本の森探検隊</td> <td>テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ。</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>フロアコンサート</td> <td>年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った。</td> <td>235人</td> </tr> <tr> <td>大人のためのストーリーテリング</td> <td>大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した。</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>四国八十八か所講演会</td> <td>四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした。</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>大正琴コンサート</td> <td>大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした。</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>ギター演奏会</td> <td>ギターのグループによる演奏会。</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>冬のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>読書講演会</td> <td>電子書籍到来と題して講演会を行う。</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>図書館講演会</td> <td>古代アンデス文明を探ると題して講演会を行う。</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table>		行事名	概要	参加人数	ブックスタート	7ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う。	189人	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う。	264人	おはなし会	毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う。	1,224人	土曜の午後のおはなし会	土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。	100人	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。	55人	映画上映会	名作映画の上映会を実施した。	2,850人	本の森探検隊	テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ。	90人	フロアコンサート	年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った。	235人	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した。	4人	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした。	63人	大正琴コンサート	大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした。	180人	ギター演奏会	ギターのグループによる演奏会。	90人	冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。	45人	読書講演会	電子書籍到来と題して講演会を行う。	36人	図書館講演会	古代アンデス文明を探ると題して講演会を行う。	67人
	行事名	概要	参加人数																																																
	ブックスタート	7ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う。	189人																																																
	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う。	264人																																																
	おはなし会	毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う。	1,224人																																																
	土曜の午後のおはなし会	土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。	100人																																																
	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。	55人																																																
	映画上映会	名作映画の上映会を実施した。	2,850人																																																
	本の森探検隊	テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ。	90人																																																
フロアコンサート	年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った。	235人																																																	
大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した。	4人																																																	
四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした。	63人																																																	
大正琴コンサート	大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした。	180人																																																	
ギター演奏会	ギターのグループによる演奏会。	90人																																																	
冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。	45人																																																	
読書講演会	電子書籍到来と題して講演会を行う。	36人																																																	
図書館講演会	古代アンデス文明を探ると題して講演会を行う。	67人																																																	
○レファレンスサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭、電話、文書で寄せられる質問に対して、図書館資料を使って回答を行い、必要に応じて県立図書情報館に協力依頼して回答を行う場合もある。 																																																		
○インターネット、モバイル端末による蔵書の検索、予約を実施した。																																																			
○ティーンズコーナーを設置し、中高生向けの資料を別置して提供した。																																																			
○視聴覚室スクリーン拡張工事及びプロジェクター新規入替工事	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望が強かった視聴覚室のスクリーンを150インチワイド型に拡張し、映像を投影するプロジェクターの入替工事を行った。(決算額：630,000円) 																																																		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○資料情報の提供 ・年間約7,000点の資料を購入して、町民の読書ニーズに応えた。 開館以来毎年来館者数が減ってきていたが、平成22年度は前年度を上回った。【成果指標①】</p> <p>○子どもの読書の推進 ・ブックスタート、ゆりかごおはなし会、おはなし会、土曜の午後のおはなし会、本の森探検隊、夏のつどいなど子どもの読書を推進するために多くの行事を実施した。【成果指標②】</p> <p>○一般成人向け講演会など生涯学習事業の推進 ・映画上映会は町民の中に定着しており、平成21年度より参加者数は増加した。【成果指標③】 ・各事業実施に伴い、ボランティアの協力、活用により充実した事業内容となった。</p> <p>○図書館整備事業 ・視聴覚室スクリーン拡張及びプロジェクター入替工事により、映画上映や講演等でこれまでと比べて、格段に快適な映像を提供することができるようになり、利用者にも好評を頂いた。</p>
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①資料情報の提供	貸出冊数	冊	286,679	287,177	H21 10,452,254
						H22 10,504,778
	②子どもの読書の推進	参加者数	人	1,631	1,967	H21 281,997
						H22 261,840
	③生涯学習事業の推進	参加者数	人	3,871	3,525	H21 80,000
						H22 60,000
					H21	
					H22	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①図書館を利用されていない方々に対していかに図書館を利用していただくかを検討する。 ②おはなしボランティアの増員を図る。 ③小中学校や保育所、幼稚園などとの連携を一層進める。</p>
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①様々なニーズに合わせた行事を行って、図書館への来館を促し、図書館利用へと誘う。また、ホームページや広報を通じて図書館の魅力をアピールする。 ②おはなしボランティア育成講座を開いて、ボランティアとして一步を踏み出してもらうように援助する。 ③小中学校の図書室の現状を把握して、相互に協力できることを探る。また、保育所、幼稚園については子どもの読書を推進の方策について意見交流を進める。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・町民への資料情報の提供活動を基本として、また、子どもたちや一般の方々が本と触れ合う拠点として、誰もが本に親しめる様々な事業を展開していく。

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第2章・第4節の①②③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。 ・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。 ・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。 ・ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行います。 ・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有意義な活用を図る。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財について広く町民等に啓発できるよう、企画立案する。 ○地域の歴史学習の機会の提供等 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、町内には国指定重要文化財3点、県指定文化財1点、町指定文化財13点、国登録文化財1点がある。それぞれの文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り適切な対応を行った。 ・遍照院シダレザクラの樹木消毒の維持管理経費の一部を助成するとともに、薬隆寺八幡神社の防火設備点検費の一部を補助した。 ・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視と適切な保護を行った。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化のグループである「史学さんごう」の協力のもと、「三郷町文化財のしおり」を発行し、町内にある文化財の啓発を行った。 また、冊子「わがふるさとの万葉歌」を増刷した。 ・町内の生涯学習のグループである「史学さんごう」の協力により、文化センター内にある「郷土資料室」の総点検及び整備と町の保管している文化財の保護及び活用を図るとともに、来場者がより見やすい展示を行った。 ・町内にある文化財の啓発用看板の点検及び不良個所の修理等を行った。 ○【平城遷都1300年祭】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年は「平城京」が誕生してから1300年目にあたることから、これを記念し奈良県下で各種記念事業を行った。 ・三郷町の記念事業としては、「みさと万葉学習会」、「史学さんごう」、「三郷町観光協会」などの関係機関の協力により「平城遷都1300年祭実行委員会」を立ち上げ、下記の事業を実施した。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>日 時</td> <td>平成22年4月4日</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>三郷町文化センター及び町内</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>「～万葉のさと三郷～講演会」 講師 奈良女子大学教授 坂本信幸 音楽で綴る万葉集「みやびうたコンサート」 ソプラノ歌手 歌枕 直美 「ゆるキャラ祭り」 たつたひめ、せんとかん等 「万葉ウォーク」 町内の万葉集に関わる史跡を巡るウォークの実施</td> </tr> </table> ○文化・歴史学習の機会 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級として「歴史教室」を開講し、身近な歴史等を学ぶ機会を提供した。 ・また、三郷町に関わる万葉歌が多く謳われていることをなどを踏まえ、「みさと万葉学習会」を開講し、歴史のロマンに触れた。 ○文化財の発見 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中央公園多目的広場建設に伴い、県立樞原考古学研究所へ発掘依頼したところ、約15,000年前の石器が発見され「勢野東遺跡」と名付けられた。 	日 時	平成22年4月4日	場 所	三郷町文化センター及び町内	事業内容	「～万葉のさと三郷～講演会」 講師 奈良女子大学教授 坂本信幸 音楽で綴る万葉集「みやびうたコンサート」 ソプラノ歌手 歌枕 直美 「ゆるキャラ祭り」 たつたひめ、せんとかん等 「万葉ウォーク」 町内の万葉集に関わる史跡を巡るウォークの実施
日 時	平成22年4月4日						
場 所	三郷町文化センター及び町内						
事業内容	「～万葉のさと三郷～講演会」 講師 奈良女子大学教授 坂本信幸 音楽で綴る万葉集「みやびうたコンサート」 ソプラノ歌手 歌枕 直美 「ゆるキャラ祭り」 たつたひめ、せんとかん等 「万葉ウォーク」 町内の万葉集に関わる史跡を巡るウォークの実施						

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護・啓発・活用 ・文化財の維持管理に伴う経費を助成するとともに、町内の文化財の定期的な巡視を行うことにより、適切な文化財の保護が行えた。【成果指標①②】 ・また、「わがふるさとの万葉歌」及び「三郷路ふるさと散歩」を増刷し、多くの方に町内の歴史に関する史跡等の啓発・活用がなされた。また、「郷土資料室」の点検整備を行い、郷土の歴史的資料の活用がより一層充実した。 ○平成遷都1300年祭の開催 ・平成遷都1300年祭を開催し、「講演会」、「コンサート」、「歴史ウォーク」を行い延べ480人の参加があった。 ○学級の開催 ・「歴史教室」は110人、「みさと万葉学習会」では62人の登録があり、1年を通じて歴史文化に親しむことができた。 ○文化財マップの作成 ・「三郷町文化財のしおり」を2,000部作成するとともに、町広報等で周知を行うとともに、希望者にしおりを配布することによりより一層の文化財の啓発向上を図ることができた。【成果指標③】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①遍照院シダレザクラ	消毒業務	有無	有	有	H21 80,000 H22 80,000
	②薬隆寺八幡神社	防火施設点検 (県補助額)	有無	有	有	H21 15,000 H22 15,000
	③「三郷町文化財のしおり」作成	啓発	部数		2,000部	H21 0 H22 99,750
						H21
						H22
						H21

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①町内の各家屋等に眠っている貴重な文化財を掘り起こし、適切な管理のもと文化財保護に努める。</p> <p>②文化財の啓発看板が老朽化しており、改修等の必要がある。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①「勢野東遺跡」の今後の活用方法について検討する必要がある。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化財の掘り起こしについては、地域や関係機関との連携を密に行い、町内の文化財に関する情報を収集する。</p> <p>②文化財の啓発看板等については、定期的に巡回し、不良個所がないか確認し必要に応じて修理等を行う。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①「勢野東遺跡」について、県立橿原考古学研究所に分析依頼するとともに、その結果を踏まえて活用方法を検討する。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</p> <p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・平成23年度から3カ年かけて「勢野東遺跡」の調査分析を県立橿原考古学研究所に依頼し、その結果を踏まえ展示や看板等、今後の活用方法について検討する。</p>
--------------	--

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑱生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の①②③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらうことを目的に、各種スポーツ等を実施する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ol style="list-style-type: none"> ①町民体育祭の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会がスポーツイベントを通じてスポーツに親しみ、町民の輪を広げることをテーマに、三郷町体育協会及び三郷町スポーツ少年団の協力のもと、10月10日に三郷町健民グラウンドにおいて第40回町民体育祭が開催予定されていたが、雨天のため中止となった。 ②野球審判講習会 <ul style="list-style-type: none"> ・盛んなスポーツの一つとして野球があるが、試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正に対応するため、4月18日に講習会を開催した。 ③関係団体に補助金の助成 <ul style="list-style-type: none"> 【三郷町体育協会】 <ul style="list-style-type: none"> 目的：スポーツの普及振興と競技団体の育成強化を図り、町民の健康増進と体力の向上に努め、明るく活力ある地域社会づくりに寄与する。 ※補助金額 1,821,997円 【三郷町スポーツ少年団】 <ul style="list-style-type: none"> 目的：加盟団体の資質の向上を図り、スポーツ振興意欲を高める。 ※補助金額 800,000円 ④体育指導委員 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども人権学習支援事業や福祉関係のイベントなどに出向き、スポーツ振興のため住民に対しスポーツの実技指導等を行った。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員のもと9月26日に軽スポーツフェスティバル、11月7日に軽スポーツ大会を開催し、軽スポーツの普及に取り組んだ。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進及び軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・町の社会体育の最大イベントである町民体育祭を町体育協会及びスポーツ少年団等の協力により開催予定であったが、雨天のため中止となる。【成果指標③】 ・体育指導委員が地域に出向き、軽スポーツ等の振興を図ることができた。 ○関係団体に補助金の助成 <ul style="list-style-type: none"> ・「町体育協会」及び「町スポーツ少年団」に補助金を助成し、スポーツ振興に関わり育成及び強化を図ることができた。【成果指標①②】
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①三郷町体育協会	補助金	円	1,738,602	1,821,997	H21 1,738,602
						H22 1,821,997
	②三郷町スポーツ少年団	補助金	円	800,000	800,000	H21 800,000
						H22 800,000
	③町民体育祭	参加者数	人	3,000	中止	H21 939,903
H22 650,933						
					H21	
					H22	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①昨今、新しいスポーツ種目が発案されていることから、本町においてもその種目の取り入れ方法を検討するとともに、既存の種目においても、競技人口が減少しているものがあり今後の運営の在り方を検討する必要がある。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる「総合型地域スポーツクラブ」を創設する。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①新しいスポーツ種目については、競技の目的・ルール等を十分把握し、実施市町村等へ出向くなど情報の収集及び分析を行い、地域への普及を検討する。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①関係機関と連携及び情報交換を行い、「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けた協議を行う。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・誰もが親しみ楽しめるスポーツの普及を行うため、「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けて、関係機関との協議や予算措置を図っていく。</p>

平成22年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑳スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の④⑤
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人々が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・将来的に、財政状況も考慮しつつ、自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの設置を検討します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。 ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うためスポーツセンター及びウォーターパークを合わせて管理運営を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ◎ スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設は、設置からかなりの年月が経ち、経年劣化により施設の維持修繕が必要になっていることから、修繕、改修を行い施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 ① 竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> ・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：成人及び少年野球、ソフトボール、グランドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：更衣室の設置、外周水路改修、真砂土の入替等を行った。(決算額：2,418,505円) ② 勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> ・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：少年野球、女子ソフト、少女ソフト(決算額：198,095円) ③ スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康で文化的な生活の向上を図るために設置。 利用種目：卓球、ソフトテニス、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：非常用照明等の修理、照明用分電盤取替、防球ネット修理を行った。(決算額：2,028,096円) 【トレーニング室】 新しいトレーニングマシンを設置するとともに、機器の保守点検や修理を行った。 ④ ウォーターパーク【国庫補助】 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの振興及び体力の維持増進を図り、心身の健全な発達と健康で明るい生活の向上を図るために設置。 施設整備：キュービクル改修、漏水修理等を行った。(決算額：9,047,850円) ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを生かし効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成22年度から3年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて(株)翔成へ指定管理を行った。 (指定管理料28,000,000円) ○施設利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健民グラウンド</td> <td>36,365 人</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>9,329 人</td> </tr> <tr> <td>勢野グラウンド</td> <td>3,775 人</td> </tr> <tr> <td>スポーツセンター</td> <td>73,282 人</td> </tr> <tr> <td>ウォーターパーク</td> <td>52,765 人</td> </tr> </tbody> </table> 	施設名	利用者数	健民グラウンド	36,365 人	テニスコート	9,329 人	勢野グラウンド	3,775 人	スポーツセンター	73,282 人	ウォーターパーク	52,765 人
施設名	利用者数												
健民グラウンド	36,365 人												
テニスコート	9,329 人												
勢野グラウンド	3,775 人												
スポーツセンター	73,282 人												
ウォーターパーク	52,765 人												

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は、維持修繕や施設改修を重点的に行い、安全で安心な施設利用をしていただくことができた。【成果指標①】 <p>○指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度はウォータerparkのみを指定管理としていたが、本年度からウォータerpark及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを生かすことができ、効率的・効果的な施設運営と経費の削減を図ることができた。【成果指標②】
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H21年度	H22年度	決算額(円)
②成果指標	①施設整備	決算額	円	17,526,800	13,692,546	H21 17,526,800 H22 13,692,546
	②指定管理 (H21はウォータerparkのみ)	指定管理料	円	19,950,000	28,000,000	H21 19,950,000 H22 28,000,000
						H21 H22
						H21 H22
						H21 H22
						H21 H22

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の経年劣化により、施設の不具合や故障が発生し維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修を行う必要がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・住民が望む生涯スポーツを推進するため、現体育施設の適正な維持管理を行うとともに施設整備を行う。		

IV 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者

平成22年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、下記の学識経験者を点検評価有識者に委嘱し、7月・8月に2回のヒアリングを実施し、指導及び助言を受け、報告書に所要の修正を行った。

☆点検評価有識者：大阪教育大学 米川 英樹 教授

2. 指導・助言の内容

なお、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言をいただいた。

「三郷町教育に関する事務の点検及び評価報告書」（平成22年度実施分）を検討した結果について、以下のように概括する。

- ①昨年度から三郷町の教育施策及び事業を第4次総合計画と対応づけ、その関連を明確化していたが、今年度はさらに、主要事業と進捗状況を明示化することによって、全体像をさらに把握しやすくなったことは評価できる。
- ②今年度は、施策及び事業予算について、国費、県費、町費の区別を明示することによって、施策及び事業の主体と三郷町の独自性を立体的に浮き彫りにすることを心掛けたことについては、高く評価したい。
- ③平成22年度報告書の当初の案について、計20項目に渡って資料の追加や叙述の充実などの指摘を行ったが、最終案では、ほとんどの項目について改善が見られ、教育委員会としての改善への真摯な姿勢が見られた。
- ④成果指標のデータについては、昨年度の報告書よりも充実している。

他方、残された課題としては、以下の事柄があげられる。

- ①年度ごとの点検・評価については、改善されつつあることは明瞭であるが、施策や事業の全体的な将来像は、第4次総合計画に示される教育に関する大目標以外にはないため、多少茫漠としている。また、点検・評価項目は、総合計画にはないものも含まれており、それらを含めた中期的な教育計画があれば、さらに施策及び事業についての透明性の確保と評価の在り方が明確になるものと思われる。
- ②改善されたとはいえ、なおいくつかの事業では、PDCAサイクルのC（チェック）の部分が必ずしも十分ではないままに進行している。事業の開始の段階から成果を意識した運営を心掛ける必要がある。ま

た、そのためには事業開始段階からのデータ収集（たとえばアンケート）の工夫が必要であろう。

- ③いくつかの点検・評価シートでは、昨年度とほとんど同じ記述を行い、数字だけが異なっているものが見かけられる。記述の工夫とマンネリに陥らない工夫が必要である。

全体としては、平成22年度分の「三郷町教育に関する事務の点検及び評価報告書」については、昨年度よりも充実し、施策及び事業の透明性がより高くなっている。高く評価するとともに、今後も改善に向けての道を歩んでいただきたい。

平成23年8月10日

大阪教育大学教授 米川英樹